

改正後	現 行
<p>第2章 用排水ポンプ設備</p> <p>第1・第2 [略]</p> <p>第3 直接工事費</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 据付工数</p> <p>3-1 ポンプ設備据付工数</p> <p>ポンプ設備据付工数は、次式による。</p> $Y_m = \Sigma(Y_{mi} \times K_{mi} \times K_s \times K_{mn}) + \Sigma(\Sigma(Y_f) \times K_{mn})$ <p>Y_m : 設備N台当りのポンプ設備据付工数(人)</p> <p>Y_{mi} : 設備1台当りのポンプ設備標準据付工数(人/台)</p> <p>K_{mi} : 原動機種別によるポンプ設備標準据付工数の補正係数</p> <p>K_s : 給水方式による補正係数</p> <p>K_{mn} : 据付数によるポンプ設備標準据付工数の補正係数</p> <p>Y_f : 立軸渦巻ポンプ(斜流)の中間軸受装置(中間床)据付工数(人/カ所)</p> <p>1)~5) [略]</p> <p>3-2 付帯設備据付工数 [略]</p> <p>4・5 [略]</p>	<p>第2章 用排水ポンプ設備</p> <p>第1・第2 [略]</p> <p>第3 直接工事費</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 据付工数</p> <p>3-1 ポンプ設備据付工数</p> <p>ポンプ設備据付工数は、次式による。</p> $Y_m = \Sigma(Y_{mi} \times K_{mi} \times K_s \times K_{mn}) + \Sigma(\Sigma(Y_f) \times K_{mn})$ <p>Y_m : 設備N台当りのポンプ設備据付工数(人)</p> <p>Y_{mi} : 設備1台当りのポンプ設備標準据付工数(人/台)</p> <p>K_{mi} : 原動機種別によるポンプ設備標準据付工数の補正係数</p> <p>K_s : 給水方式による補正係数</p> <p>K_{mn} : 据付数によるポンプ設備機械標準据付工数の補正係数</p> <p>Y_f : 立軸渦巻ポンプ(斜流)の中間軸受装置(中間床)据付工数(人/カ所)</p> <p>1)~5) [略]</p> <p>3-2 付帯設備据付工数 [略]</p> <p>4・5 [略]</p>

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改正後	現 行																											
<p>第3章 水門設備</p> <p>第1 河川・水路用水門設備</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 直接工事費</p> <p>3-1 輸送費</p> <p>輸送費（円）は、表-3・1・16による。</p> <p>表-3・1・16 輸送費 (円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区 分</th> <th style="width: 40%;">輸送費（円）算定式</th> <th style="width: 50%;">xの定義</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小形水門</td> <td>プレートガーダ構造ローラゲート プレートガーダ構造スライドゲート $y = (17.2x + 42) \times D + 212,000$</td> <td rowspan="4">扉体面積 (m²/門) × 門数</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中・大形水門、堰</td> <td><u>プレートガーダ構造ローラゲート</u> $y = (17.8x + 146) \times D + 212,000$</td> </tr> <tr> <td>シェル構造ローラゲート (x × D < 1,500 の場合) $y = (135x - 1,594) \times D + 51,000$ (x × D ≥ 1,500 の場合) $y = (60.9x - 717) \times D + 116,000$</td> </tr> <tr> <td><u>プレートガーダ構造角落しゲート</u> $y = (12.5x + 199) \times D + 212,000$</td> </tr> <tr> <td>起伏堰</td> <td><u>起伏ゲート</u> $y = (12.5x + 199) \times D + 212,000$</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 輸送費（円）の算定において、「x」は「xの定義」によるものとし、「D」は想定輸送距離（km）とする。なお、輸送費（円）は1,000円未満を切り捨てるものとする。 2. 対象範囲は表-3・1・1に示す構成全ての輸送費である。 3. 工事場所が沖縄、離島の場合は、別途積算する。 4. この算定式には、付属する鋼製付属設備（手摺、防護柵、タラップ及び埋設する据付架台等）を含んでいる。ただし、付帯する管理橋は「第6章 鋼製付属設備」の輸送費算定式を適用する。</p> <p>3-2～3-7 [略]</p>	区 分	輸送費（円）算定式	xの定義	小形水門	プレートガーダ構造ローラゲート プレートガーダ構造スライドゲート $y = (17.2x + 42) \times D + 212,000$	扉体面積 (m ² /門) × 門数	中・大形水門、堰	<u>プレートガーダ構造ローラゲート</u> $y = (17.8x + 146) \times D + 212,000$	シェル構造ローラゲート (x × D < 1,500 の場合) $y = (135x - 1,594) \times D + 51,000$ (x × D ≥ 1,500 の場合) $y = (60.9x - 717) \times D + 116,000$	<u>プレートガーダ構造角落しゲート</u> $y = (12.5x + 199) \times D + 212,000$	起伏堰	<u>起伏ゲート</u> $y = (12.5x + 199) \times D + 212,000$		<p>第3章 水門設備</p> <p>第1 河川・水路用水門設備</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 直接工事費</p> <p>3-1 輸送費</p> <p>輸送費（円）は、表-3・1・16による。</p> <p>表-3・1・16 輸送費 (円)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 10%;">区 分</th> <th style="width: 40%;">輸送費（円）算定式</th> <th style="width: 50%;">xの定義</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小形水門</td> <td><u>(x × D < 1,500 の場合)</u> $y = (58.8x + 155) \times D + 51,000$ <u>(x × D ≥ 1,500 の場合)</u> $y = (26.5x + 70) \times D + 116,000$</td> <td rowspan="4">扉体面積 (m²/門) × 門数</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">中・大形水門、堰</td> <td><u>プレートガーダ構造ローラゲート</u> $y = (44.9x + 337) \times D + 51,000$ <u>プレートガーダ構造角落しゲート</u> <u>(x × D ≥ 1,500 の場合)</u> $y = (20.2x + 152) \times D + 116,000$</td> </tr> <tr> <td>シェル構造ローラゲート (x × D < 1,500 の場合) $y = (135x - 1,594) \times D + 51,000$ (x × D ≥ 1,500 の場合) $y = (60.9x - 717) \times D + 116,000$</td> </tr> <tr> <td>起伏堰</td> <td><u>起伏ゲート</u> <u>(扉体面積 10m²未満の場合)</u> $y = (58.8x + 155) \times D + 51,000$ <u>(x × D ≥ 1,500 の場合)</u> $y = (26.5x + 70) \times D + 116,000$</td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>起伏ゲート</u> <u>(扉体面積 10m²以上の場合)</u> $y = (44.9x + 337) \times D + 51,000$ <u>(x × D ≥ 1,500 の場合)</u> $y = (20.2x + 152) \times D + 116,000$</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 輸送費（円）の算定において、「x」は「xの定義」によるものとし、「D」は想定輸送距離（km）とする。なお、輸送費（円）は1,000円未満を切り捨てるものとする。 2. 対象範囲は表-3・1・1に示す構成全ての輸送費である。 3. 工事場所が沖縄、離島の場合は、別途積算する。 4. この算定式には、付属する鋼製付属設備（手摺、防護柵、タラップ及び埋設する据付架台等）を含んでいる。ただし、付帯する管理橋は「第6章 鋼製付属設備」の輸送費算定式を適用する。</p> <p>3-2～3-7 [略]</p>	区 分	輸送費（円）算定式	xの定義	小形水門	<u>(x × D < 1,500 の場合)</u> $y = (58.8x + 155) \times D + 51,000$ <u>(x × D ≥ 1,500 の場合)</u> $y = (26.5x + 70) \times D + 116,000$	扉体面積 (m ² /門) × 門数	中・大形水門、堰	<u>プレートガーダ構造ローラゲート</u> $y = (44.9x + 337) \times D + 51,000$ <u>プレートガーダ構造角落しゲート</u> <u>(x × D ≥ 1,500 の場合)</u> $y = (20.2x + 152) \times D + 116,000$	シェル構造ローラゲート (x × D < 1,500 の場合) $y = (135x - 1,594) \times D + 51,000$ (x × D ≥ 1,500 の場合) $y = (60.9x - 717) \times D + 116,000$	起伏堰	<u>起伏ゲート</u> <u>(扉体面積 10m²未満の場合)</u> $y = (58.8x + 155) \times D + 51,000$ <u>(x × D ≥ 1,500 の場合)</u> $y = (26.5x + 70) \times D + 116,000$		<u>起伏ゲート</u> <u>(扉体面積 10m²以上の場合)</u> $y = (44.9x + 337) \times D + 51,000$ <u>(x × D ≥ 1,500 の場合)</u> $y = (20.2x + 152) \times D + 116,000$	
区 分	輸送費（円）算定式	xの定義																										
小形水門	プレートガーダ構造ローラゲート プレートガーダ構造スライドゲート $y = (17.2x + 42) \times D + 212,000$	扉体面積 (m ² /門) × 門数																										
中・大形水門、堰	<u>プレートガーダ構造ローラゲート</u> $y = (17.8x + 146) \times D + 212,000$																											
	シェル構造ローラゲート (x × D < 1,500 の場合) $y = (135x - 1,594) \times D + 51,000$ (x × D ≥ 1,500 の場合) $y = (60.9x - 717) \times D + 116,000$																											
	<u>プレートガーダ構造角落しゲート</u> $y = (12.5x + 199) \times D + 212,000$																											
起伏堰	<u>起伏ゲート</u> $y = (12.5x + 199) \times D + 212,000$																											
区 分	輸送費（円）算定式	xの定義																										
小形水門	<u>(x × D < 1,500 の場合)</u> $y = (58.8x + 155) \times D + 51,000$ <u>(x × D ≥ 1,500 の場合)</u> $y = (26.5x + 70) \times D + 116,000$	扉体面積 (m ² /門) × 門数																										
中・大形水門、堰	<u>プレートガーダ構造ローラゲート</u> $y = (44.9x + 337) \times D + 51,000$ <u>プレートガーダ構造角落しゲート</u> <u>(x × D ≥ 1,500 の場合)</u> $y = (20.2x + 152) \times D + 116,000$																											
	シェル構造ローラゲート (x × D < 1,500 の場合) $y = (135x - 1,594) \times D + 51,000$ (x × D ≥ 1,500 の場合) $y = (60.9x - 717) \times D + 116,000$																											
	起伏堰		<u>起伏ゲート</u> <u>(扉体面積 10m²未満の場合)</u> $y = (58.8x + 155) \times D + 51,000$ <u>(x × D ≥ 1,500 の場合)</u> $y = (26.5x + 70) \times D + 116,000$																									
	<u>起伏ゲート</u> <u>(扉体面積 10m²以上の場合)</u> $y = (44.9x + 337) \times D + 51,000$ <u>(x × D ≥ 1,500 の場合)</u> $y = (20.2x + 152) \times D + 116,000$																											

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

(下線部は改正部分)

u003c/div>

改正後	現 行																																																				
<p>第4章 除塵設備</p> <p>第1 適用範囲 [略]</p> <p>第2 直接製作費</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 製作工数</p> <p>3-1~3-3 [略]</p> <p>3-4 製作数による補正係数(K_n)</p> <p><u>レーキ形除塵機及びネット形除塵機</u>において同一形式、同一寸法のを複数(基、台)同時発注する場合の補正係数(K_n)は表-4・2・10を標準とする。</p> <p>表-4・2・10 製作数による補正係数(K_n)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>形式</th> <th>製作数(基、台)</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>レーキ形除塵機</u></td> <td><u>定置回転式</u></td> <td rowspan="2">補正係数</td> <td rowspan="2">1.00</td> <td rowspan="2">0.95</td> <td rowspan="2">0.93</td> <td rowspan="2">0.92</td> <td rowspan="2">0.91</td> </tr> <tr> <td><u>ネット形除塵機</u></td> <td><u>セパレートネット</u></td> </tr> <tr> <td></td> <td><u>エンドレスネット</u></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4・5 [略]</p>	区分	形式	製作数(基、台)	1	2	3	4	5以上	<u>レーキ形除塵機</u>	<u>定置回転式</u>	補正係数	1.00	0.95	0.93	0.92	0.91	<u>ネット形除塵機</u>	<u>セパレートネット</u>		<u>エンドレスネット</u>							<p>第4章 除塵設備</p> <p>第1 適用範囲 [略]</p> <p>第2 直接製作費</p> <p>1・2 [略]</p> <p>3 製作工数</p> <p>3-1~3-3 [略]</p> <p>3-4 製作数による補正係数(K_n)</p> <p>同一形式、同一寸法のを複数(基、台)同時発注する場合の補正係数(K_n)は表-4・2・10を標準とする。</p> <p>表-4・2・10 製作数による補正係数(K_n)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>(新設)</th> <th>(新設)</th> <th>製作数(基、台)</th> <th>1</th> <th>2</th> <th>3</th> <th>4</th> <th>5以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(新設)</td> <td>(新設)</td> <td rowspan="2">補正係数</td> <td rowspan="2">1.00</td> <td rowspan="2">0.95</td> <td rowspan="2">0.93</td> <td rowspan="2">0.92</td> <td rowspan="2">0.91</td> </tr> <tr> <td>(新設)</td> <td>(新設)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(新設)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>4・5 [略]</p>	(新設)	(新設)	製作数(基、台)	1	2	3	4	5以上	(新設)	(新設)	補正係数	1.00	0.95	0.93	0.92	0.91	(新設)	(新設)		(新設)						
区分	形式	製作数(基、台)	1	2	3	4	5以上																																														
<u>レーキ形除塵機</u>	<u>定置回転式</u>	補正係数	1.00	0.95	0.93	0.92	0.91																																														
<u>ネット形除塵機</u>	<u>セパレートネット</u>																																																				
	<u>エンドレスネット</u>																																																				
(新設)	(新設)	製作数(基、台)	1	2	3	4	5以上																																														
(新設)	(新設)	補正係数	1.00	0.95	0.93	0.92	0.91																																														
(新設)	(新設)																																																				
	(新設)																																																				

3

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

(下線部は改正部分)

改正後	現 行																				
<p>第3 直接工事費</p> <p>1 輸送費</p> <p>1-1 輸送費</p> <p>輸送費（円）は表-4・3・1による。</p> <p>表-4・3・1 輸送費 (円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>輸送費（円）算定式</th> <th>xの定義</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>除 塵 設 備</td> <td><u>$y=53.4x \times D+216,000$</u></td> <td>対象設備質量（t）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 輸送費（円）の算定式において、「x」は「xの定義」によるものとし、「D」は想定輸送距離（km）とする。 なお、輸送費（円）は1,000円未満を切り捨てるものとする。 2. 対象範囲は表-4・1・1に示す構成全ての輸送費である。 3. 工事場所が沖繩、離島の場合は、別途積算する。 4. この算定式には、付属する鋼製付属設備（手摺、防護柵、タラップ及び埋設する据付架台等）を含んでいる。ただし、付帯する管理橋は「第6章 鋼製付属設備」の輸送費算定式を適用する。</p> <p>2 材料費 [略]</p> <p>2-1 材料費構成 [略]</p> <p>2-2 据付材料費</p> <p>据付材料費の積算は次式による。</p> <p>据付材料費 = 据付労務費（円） × 据付材料費率（%） 据付労務費 = Σ{職種別労務工数（人/式） × 職種別賃金（円/人）}</p> <p>据付労務費は据付対象設備の据付に従事する機械設備据付工、普通作業員の労務費をいり別途計上される土木工事費、電気工事費中の労務費は対象としない。なお、据付材料費率は表-4・3・2のとおりとする。 なお、職種別据付工数は、3 据付工数による。</p> <p>表-4・3・2 据付材料費率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>据付材料費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レ ー キ 形 除 塵 機 ネ ッ ト 形 除 塵 機 コ ン ベ ヤ ホ ッ パ</td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 据付材料費率に含まれる材料は次のとおりとする。 製作品・機器単体品等の据付に必要なステー材及びアンカー材及び機側操作盤の二次側電線、配管材料等。</p>	区 分	輸送費（円）算定式	xの定義	除 塵 設 備	<u>$y=53.4x \times D+216,000$</u>	対象設備質量（t）	区 分	据付材料費率	レ ー キ 形 除 塵 機 ネ ッ ト 形 除 塵 機 コ ン ベ ヤ ホ ッ パ	8.0	<p>第3 直接工事費</p> <p>1 輸送費</p> <p>1-1 輸送費</p> <p>輸送費（円）は表-4・3・1による。</p> <p>表-4・3・1 輸送費 (円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>輸送費（円）算定式</th> <th>xの定義</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>除 塵 設 備</td> <td><u>$y=52.0x \times D+145,000$</u></td> <td>対象設備質量（t）</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 輸送費（円）の算定式において、「x」は「xの定義」によるものとし、「D」は想定輸送距離（km）とする。 なお、輸送費（円）は1,000円未満を切り捨てるものとする。 2. 対象範囲は表-4・1・1に示す構成全ての輸送費である。 3. 工事場所が沖繩、離島の場合は、別途積算する。 4. この算定式には、付属する鋼製付属設備（手摺、防護柵、タラップ及び埋設する据付架台等）を含んでいる。ただし、付帯する管理橋は「第6章 鋼製付属設備」の輸送費算定式を適用する。</p> <p>2 材料費 [略]</p> <p>2-1 材料費構成 [略]</p> <p>2-2 据付材料費</p> <p>据付材料費の積算は次式による。<u>なお、据付材料費率は表-4・3・2による。</u></p> <p>据付材料費 = 据付労務費（円） × 据付材料費率（%） 据付労務費 = Σ{職種別労務工数（人/式） × 職種別賃金（円/人）}</p> <p>据付労務費は据付対象設備の据付に従事する機械設備据付工、普通作業員の労務費をいり別途計上される土木工事費、電気工事費中の労務費は対象としない。なお、据付材料費率は表-4・3・2のとおりとする。 なお、職種別据付工数は、3 据付工数による。</p> <p>表-4・3・2 据付材料費率 (%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>据付材料費率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レ ー キ 形 除 塵 機 ネ ッ ト 形 除 塵 機 コ ン ベ ヤ ホ ッ パ</td> <td>8.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 据付材料費率に含まれる材料は次のとおりとする。 製作品・機器単体品等の据付に必要なステー材及びアンカー材及び機側操作盤の二次側電線、配管材料等。</p>	区 分	輸送費（円）算定式	xの定義	除 塵 設 備	<u>$y=52.0x \times D+145,000$</u>	対象設備質量（t）	区 分	据付材料費率	レ ー キ 形 除 塵 機 ネ ッ ト 形 除 塵 機 コ ン ベ ヤ ホ ッ パ	8.0
区 分	輸送費（円）算定式	xの定義																			
除 塵 設 備	<u>$y=53.4x \times D+216,000$</u>	対象設備質量（t）																			
区 分	据付材料費率																				
レ ー キ 形 除 塵 機 ネ ッ ト 形 除 塵 機 コ ン ベ ヤ ホ ッ パ	8.0																				
区 分	輸送費（円）算定式	xの定義																			
除 塵 設 備	<u>$y=52.0x \times D+145,000$</u>	対象設備質量（t）																			
区 分	据付材料費率																				
レ ー キ 形 除 塵 機 ネ ッ ト 形 除 塵 機 コ ン ベ ヤ ホ ッ パ	8.0																				

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

(下線部は改正部分)

改正後	現 行																																																															
<p>2. レーキ形定置回転式除塵機本体のうち、本体架台、原動機架台、操作・管理用足場等は、「第6章 鋼製付属設備」の据付材料費を適用する。</p> <p>3. 除塵機本体から独立した操作台・管理橋(手摺、階段含む)、塵芥用コンテナ等の鋼製付属設備は、「第6章 鋼製付属設備」の据付材料費を適用する。</p> <p>2-3 据付補助材料費 [略]</p> <p>3 据付工数 [略]</p> <p>3-1 標準製作工数(y) [略]</p> <p>3-2 工数補正</p> <p>1) 構造による補正係数(K_s) レーキ形定置回転式において本体引上げ装置のあるものについては、構造による工数の補正を行うものとする。なお、構造による補正率(K_s)は表-4・3・7を標準とする。</p> <p>表-4・3・7 構造による補正係数(K_s)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th rowspan="3">形式</th> <th colspan="2">構造による補正係数</th> </tr> <tr> <th colspan="2">本体引上げ(休止)装置</th> </tr> <tr> <th>電動式</th> <th>手動式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レーキ形除塵機</td> <td>定置回転式</td> <td style="text-align: center;">1.15</td> <td style="text-align: center;">1.07</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 据付数による補正係数(K_n) <u>レーキ形除塵機及びピネット形除塵機</u>において同時期・現場、同等規模・形式の除塵設備を複数(基、台)据付けする場合の据付数による補正係数(K_n)は表-4・3・8を標準とする。</p> <p>表-4・3・8 据付数による補正係数(K_n)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>形式</th> <th rowspan="2">据付数(基、台)</th> <th rowspan="2">1</th> <th rowspan="2">2</th> <th rowspan="2">3</th> <th rowspan="2">4</th> <th rowspan="2">5以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レーキ形除塵機</td> <td>定置回転式</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">補正係数</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1.00</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.95</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.92</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.90</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.88</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ネット形除塵機</td> <td>セバレートネット</td> </tr> <tr> <td>エンドレスネット</td> </tr> </tbody> </table> <p>4・5 [略]</p>	区分	形式	構造による補正係数		本体引上げ(休止)装置		電動式	手動式	レーキ形除塵機	定置回転式	1.15	1.07	区分	形式	据付数(基、台)	1	2	3	4	5以上	レーキ形除塵機	定置回転式	補正係数	1.00	0.95	0.92	0.90	0.88	ネット形除塵機	セバレートネット	エンドレスネット	<p>2. レーキ形定置回転式除塵機本体のうち、本体架台、原動機架台、操作・管理用足場等は、「第6章 鋼製付属設備」の据付材料費を適用する。</p> <p>3. 除塵機本体から独立した操作台・管理橋(手摺、階段含む)、塵芥用コンテナ等の鋼製付属設備は、「第6章 鋼製付属設備」の据付材料費を適用する。</p> <p>2-3 据付補助材料費 [略]</p> <p>3 据付工数 [略]</p> <p>3-1 標準製作工数(y) [略]</p> <p>3-2 工数補正</p> <p>1) 構造による補正(K_s) レーキ形定置回転式において本体引上げ装置のあるものについては、構造による工数の補正を行うものとする。なお、構造による補正率(K_s)は表-4・3・7を標準とする。</p> <p>表-4・3・7 構造による補正係数(K_s)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="3">区分</th> <th rowspan="3">形式</th> <th colspan="2">構造による補正係数</th> </tr> <tr> <th colspan="2">本体引上げ(休止)装置</th> </tr> <tr> <th>電動式</th> <th>手動式</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>レーキ形除塵機</td> <td>定置回転式</td> <td style="text-align: center;">1.15</td> <td style="text-align: center;">1.07</td> </tr> </tbody> </table> <p>2) 据付数による補正係数(K_n) 同時期・現場、同等規模・形式の除塵設備を複数(基、台)据付けする場合の据付数による補正係数(K_n)は表-4・3・8を標準とする。</p> <p>表-4・3・8 据付数による補正係数(K_n)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>[追加]</th> <th>[追加]</th> <th rowspan="2">据付数(基、台)</th> <th rowspan="2">1</th> <th rowspan="2">2</th> <th rowspan="2">3</th> <th rowspan="2">4</th> <th rowspan="2">5以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>[追加]</td> <td>[追加]</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">補正係数</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">1.00</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.95</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.92</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.90</td> <td rowspan="3" style="text-align: center;">0.88</td> </tr> <tr> <td>[追加]</td> <td>[追加]</td> </tr> <tr> <td>[追加]</td> <td>[追加]</td> </tr> </tbody> </table> <p>4・5 [略]</p>	区分	形式	構造による補正係数		本体引上げ(休止)装置		電動式	手動式	レーキ形除塵機	定置回転式	1.15	1.07	[追加]	[追加]	据付数(基、台)	1	2	3	4	5以上	[追加]	[追加]	補正係数	1.00	0.95	0.92	0.90	0.88	[追加]	[追加]	[追加]	[追加]
区分			形式	構造による補正係数																																																												
				本体引上げ(休止)装置																																																												
	電動式	手動式																																																														
レーキ形除塵機	定置回転式	1.15	1.07																																																													
区分	形式	据付数(基、台)	1	2	3	4	5以上																																																									
レーキ形除塵機	定置回転式							補正係数	1.00	0.95	0.92	0.90	0.88																																																			
ネット形除塵機	セバレートネット																																																															
	エンドレスネット																																																															
区分	形式	構造による補正係数																																																														
		本体引上げ(休止)装置																																																														
		電動式	手動式																																																													
レーキ形除塵機	定置回転式	1.15	1.07																																																													
[追加]	[追加]	据付数(基、台)	1	2	3	4	5以上																																																									
[追加]	[追加]							補正係数	1.00	0.95	0.92	0.90	0.88																																																			
[追加]	[追加]																																																															
[追加]	[追加]																																																															

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改正後	現 行												
<p>第6章 鋼製付属設備</p> <p>第1・第2 [略]</p> <p>第3 直接工事費</p> <p>1 輸送費</p> <p>輸送費（円）は、表-6・3・1による。</p> <p>表-6・3・1 輸送費 (円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>輸送費（円）算定式</th> <th>xの定義</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製付属設備</td> <td><u>$y = 38.3x \times D + 81,000$</u></td> <td>対象設備質量(t)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 輸送費（円）の算定において、「x」は「xの定義」によるものとし、「D」は想定輸送距離(km)とする。なお、輸送費（円）は1,000円未満を切り捨てるものとする。 2. 対象範囲は表-6・1・1に示す構成全ての輸送費である。 3. 工事場所が沖縄、離島の場合は、別途積算する。 4. この算定式は、鋼製付属設備単独の工事及び水門設備等に付帯する管理橋に適用する。</p> <p>2～5 [略]</p>	区 分	輸送費（円）算定式	xの定義	鋼製付属設備	<u>$y = 38.3x \times D + 81,000$</u>	対象設備質量(t)	<p>第6章 鋼製付属設備</p> <p>第1・第2 [略]</p> <p>第3 直接工事費</p> <p>1 輸送費</p> <p>輸送費（円）は、表-6・3・1による。</p> <p>表-6・3・1 輸送費 (円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>輸送費（円）算定式</th> <th>xの定義</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鋼製付属設備</td> <td><u>$y = 33.6x \times D + 46,000$</u></td> <td>対象設備質量(t)</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 輸送費（円）の算定において、「x」は「xの定義」によるものとし、「D」は想定輸送距離(km)とする。なお、輸送費（円）は1,000円未満を切り捨てるものとする。 2. 対象範囲は表-6・1・1に示す構成全ての輸送費である。 3. 工事場所が沖縄、離島の場合は、別途積算する。 4. この算定式は、鋼製付属設備単独の工事及び水門設備等に付帯する管理橋に適用する。</p> <p>2～5 [略]</p>	区 分	輸送費（円）算定式	xの定義	鋼製付属設備	<u>$y = 33.6x \times D + 46,000$</u>	対象設備質量(t)
区 分	輸送費（円）算定式	xの定義											
鋼製付属設備	<u>$y = 38.3x \times D + 81,000$</u>	対象設備質量(t)											
区 分	輸送費（円）算定式	xの定義											
鋼製付属設備	<u>$y = 33.6x \times D + 46,000$</u>	対象設備質量(t)											

改正後

現行

第9章 電気通信設備

第9章 電気通信設備

第1 適用範囲 [略]

第1 適用範囲 [略]

第2 据付歩掛

第2 据付歩掛

1 共通設備工

1 共通設備工

1-1 配管・配線工

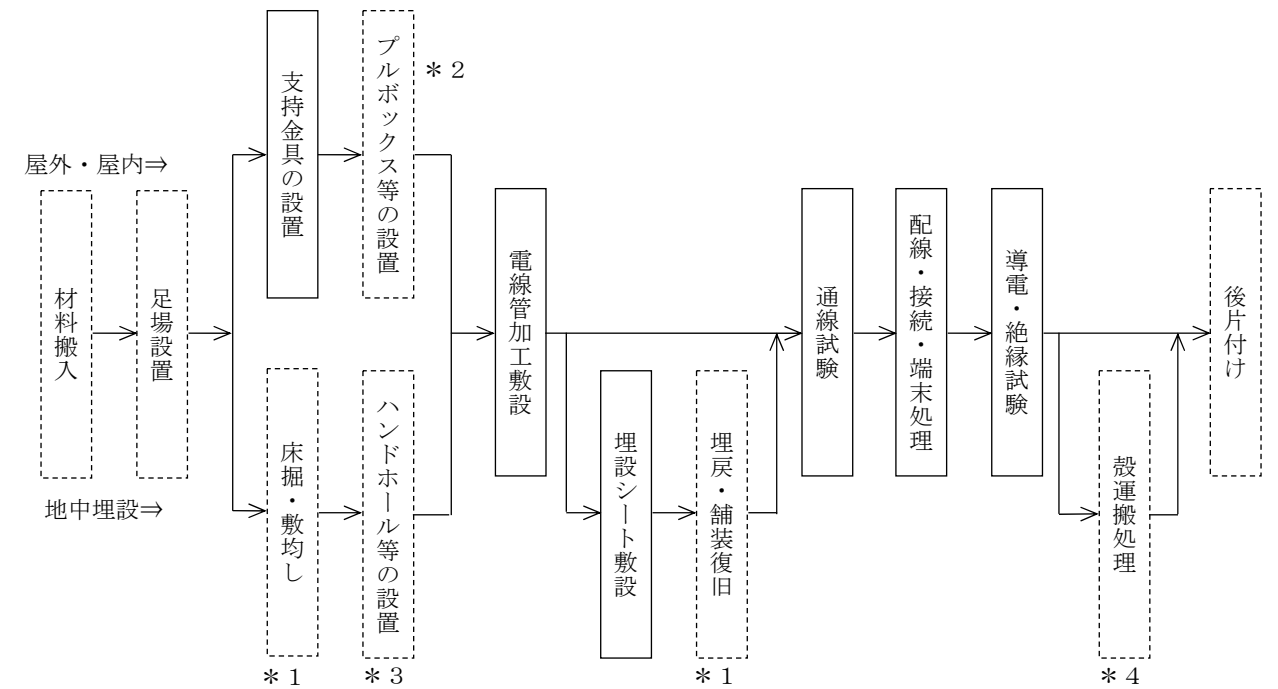
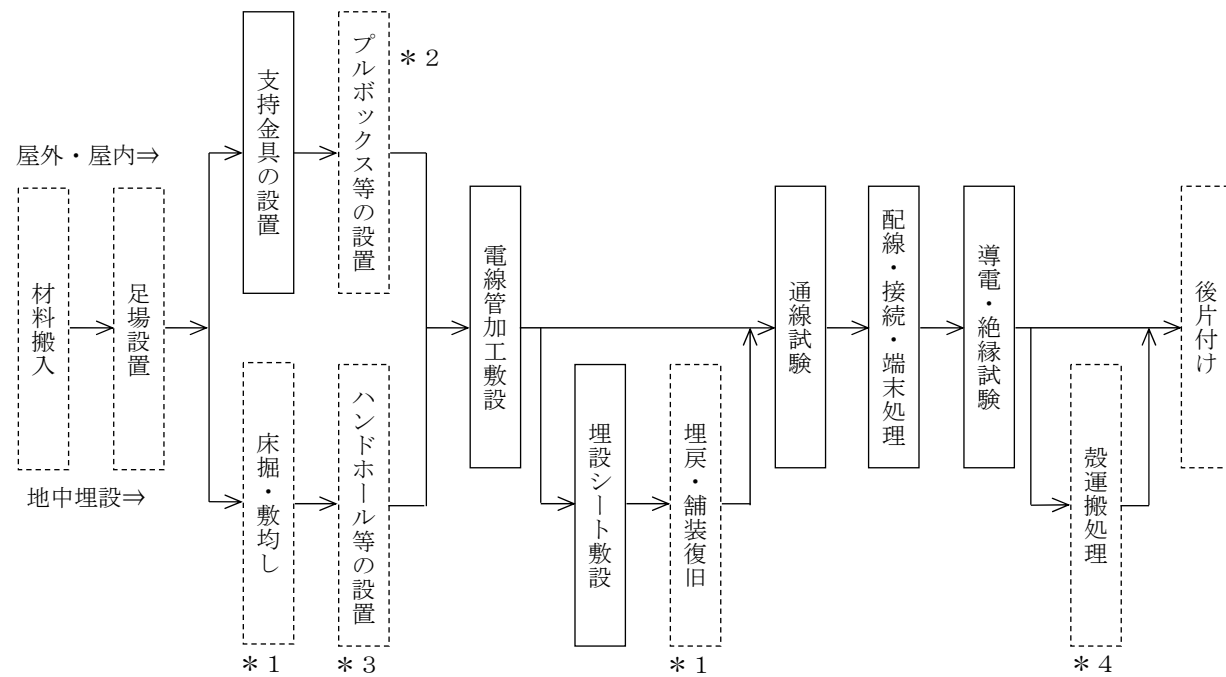
1-1 配管・配線工

- 1) 適用範囲
電線又はケーブルを通線するために配管等及び電線又はケーブルの配線、接続、端末処理に適用する。

- 1) 適用範囲
電線又はケーブルを通線するために配管等及び電線又はケーブルの配線、接続、端末処理に適用する。

- 2) 施工概要
施工フロー
本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。

- 2) 施工概要
施工フロー
本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



*1は、土地改良工事標準歩掛(土木工事)による。なお、床掘時に舗装があれば取り壊しを計上する。
*2は、「1-6 プルボックス設置工」による。
*3は、「1-5 ハンドホール設置工」による。
*4は、土地改良工事標準歩掛(土木工事)による。

*1は、土地改良工事標準歩掛(土木工事)による。なお、床掘時に舗装があれば取り壊しを計上する。
*2は、「1-6 プルボックス設置工」による。
*3は、「1-5 ハンドホール設置工」による。
*4は、土地改良工事標準歩掛(土木工事)による。

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後	現 行																																																										
<p>3) 標準歩掛</p> <p>配管・配線工</p> <ul style="list-style-type: none"> 1-1-1 配管 1-1-2 配線 1-1-3 架空配線 1-1-4 電力ケーブル端末処理 1-1-5 電力ケーブル接続 1-1-6 コンクリート穴あけ、はつり <p>1-1-1 配管 [削る。]</p> <p>[削る。]</p>	<p>3) 標準歩掛</p> <p>配管・配線工</p> <ul style="list-style-type: none"> 1-1-1 地中配管 1-1-2 屋内露出配管敷設 1-1-3 屋外露出配管敷設 1-1-4 地中配線 1-1-5 屋内配線 1-1-6 屋外配線 1-1-7 架空配線 1-1-8 電力ケーブル端末処理 1-1-9 電力ケーブル接続 1-1-10 コンクリート穴あけ、はつり <p>1-1-1 地中配管</p> <p>(1) 硬質ビニル管(道路沿い)敷設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電 工 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">硬質ビニル管 (道路沿い)敷設</td> <td>16mm</td> <td>m</td> <td>0.014</td> </tr> <tr> <td>22mm</td> <td>〃</td> <td>0.016</td> </tr> <tr> <td>28mm</td> <td>〃</td> <td>0.021</td> </tr> <tr> <td>36mm</td> <td>〃</td> <td>0.026</td> </tr> <tr> <td>42mm</td> <td>〃</td> <td>0.028</td> </tr> <tr> <td>54mm</td> <td>〃</td> <td>0.036</td> </tr> <tr> <td>70mm</td> <td>〃</td> <td>0.046</td> </tr> <tr> <td>82mm</td> <td>〃</td> <td>0.054</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。 2. 舗装切断、取り壊し、復旧、床掘、埋戻し、残土処理は別途積算する。 3. 本歩掛は、原則としてハンドホール間が150m以上の長距離敷設に適用する。 4. HIVEにも適用する。</p> <p>(2) 硬質ビニル管(構内)敷設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電 工 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="8">硬質ビニル管 (構内)敷設</td> <td>16mm</td> <td>m</td> <td>0.035</td> </tr> <tr> <td>22mm</td> <td>〃</td> <td>0.050</td> </tr> <tr> <td>28mm</td> <td>〃</td> <td>0.065</td> </tr> <tr> <td>36mm</td> <td>〃</td> <td>0.080</td> </tr> <tr> <td>42mm</td> <td>〃</td> <td>0.085</td> </tr> <tr> <td>54mm</td> <td>〃</td> <td>0.100</td> </tr> <tr> <td>70mm</td> <td>〃</td> <td>0.130</td> </tr> <tr> <td>82mm</td> <td>〃</td> <td>0.150</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。 2. 舗装切断、取り壊し、復旧、床掘、埋戻し、残土処理は別途積算する。</p>	作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	硬質ビニル管 (道路沿い)敷設	16mm	m	0.014	22mm	〃	0.016	28mm	〃	0.021	36mm	〃	0.026	42mm	〃	0.028	54mm	〃	0.036	70mm	〃	0.046	82mm	〃	0.054	作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	硬質ビニル管 (構内)敷設	16mm	m	0.035	22mm	〃	0.050	28mm	〃	0.065	36mm	〃	0.080	42mm	〃	0.085	54mm	〃	0.100	70mm	〃	0.130	82mm	〃	0.150
作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)																																																								
硬質ビニル管 (道路沿い)敷設	16mm	m	0.014																																																								
	22mm	〃	0.016																																																								
	28mm	〃	0.021																																																								
	36mm	〃	0.026																																																								
	42mm	〃	0.028																																																								
	54mm	〃	0.036																																																								
	70mm	〃	0.046																																																								
	82mm	〃	0.054																																																								
作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)																																																								
硬質ビニル管 (構内)敷設	16mm	m	0.035																																																								
	22mm	〃	0.050																																																								
	28mm	〃	0.065																																																								
	36mm	〃	0.080																																																								
	42mm	〃	0.085																																																								
	54mm	〃	0.100																																																								
	70mm	〃	0.130																																																								
	82mm	〃	0.150																																																								

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改正後		現行																																																																																																																			
<p>(1) 鋼管(構内地中)敷設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電工(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">鋼管(構内地中)敷設</td> <td><u>25A以下</u></td> <td>m</td> <td><u>0.090</u></td> </tr> <tr> <td><u>40A</u> "</td> <td>"</td> <td><u>0.130</u></td> </tr> <tr> <td><u>65A</u> "</td> <td>"</td> <td><u>0.170</u></td> </tr> <tr> <td>80A "</td> <td>"</td> <td>0.200</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。 2. 舗装切断、取り壊し、復旧、床掘、埋戻し、残土処理は別途積算する。 3. 定尺(4m/5.5m)を無加工で施工する割合が大部分の場合は、0.7倍とする。 4. <u>本歩掛は、ライニング鋼管にも適用する。</u></p> <p>(2) 波付硬質合成樹脂管(FEP)敷設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電工(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>波付硬質合成樹脂管(FEP)(道路沿い(地中))敷設</u></td> <td><u>道路沿い施工</u></td> <td>m</td> <td><u>0.005</u></td> </tr> <tr> <td rowspan="5">波付硬質合成樹脂管(FEP)(構内地中)敷設</td> <td><u>50mm以下</u></td> <td>"</td> <td><u>0.026</u></td> </tr> <tr> <td><u>80mm</u> "</td> <td>"</td> <td><u>0.040</u></td> </tr> <tr> <td><u>125mm</u> "</td> <td>"</td> <td><u>0.060</u></td> </tr> <tr> <td><u>150mm</u> "</td> <td>"</td> <td><u>0.072</u></td> </tr> <tr> <td><u>200mm</u> "</td> <td>"</td> <td><u>0.105</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。 2. 電気通信設備工事における電気及び通信ケーブル用配管敷設に適用する。 3. 舗装切断、取り壊し、復旧、床掘、埋戻し、残土処理は別途積算する。 4. 本歩掛は1条あたりの歩掛のため、多条敷設の場合は次式による。 n条敷設歩掛=基準歩掛×n(敷設条数) 5. <u>道路沿い(地中)は、河川敷内の配管にも適用する。</u></p> <p>(3) コンクリートトラフ敷設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電工(人)</th> <th>普通作業員(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">コンクリートトラフ敷</td> <td>150mm以下</td> <td>m</td> <td>0.005</td> <td>0.150</td> </tr> <tr> <td>250 "</td> <td>"</td> <td>0.010</td> <td>0.170</td> </tr> <tr> <td>400 "</td> <td>"</td> <td>0.015</td> <td>0.260</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 舗装切断、取り壊し、復旧、床掘、埋戻し、残土処理は、別途積算する。</p>		作業種別	細別規格	単位	電工(人)	鋼管(構内地中)敷設	<u>25A以下</u>	m	<u>0.090</u>	<u>40A</u> "	"	<u>0.130</u>	<u>65A</u> "	"	<u>0.170</u>	80A "	"	0.200	作業種別	細別規格	単位	電工(人)	<u>波付硬質合成樹脂管(FEP)(道路沿い(地中))敷設</u>	<u>道路沿い施工</u>	m	<u>0.005</u>	波付硬質合成樹脂管(FEP)(構内地中)敷設	<u>50mm以下</u>	"	<u>0.026</u>	<u>80mm</u> "	"	<u>0.040</u>	<u>125mm</u> "	"	<u>0.060</u>	<u>150mm</u> "	"	<u>0.072</u>	<u>200mm</u> "	"	<u>0.105</u>	作業種別	細別規格	単位	電工(人)	普通作業員(人)	コンクリートトラフ敷	150mm以下	m	0.005	0.150	250 "	"	0.010	0.170	400 "	"	0.015	0.260	<p>3. <u>定尺(4m)を無加工で施工する割合が大部分の場合は、0.7倍とする。</u> 4. <u>HIVEにも適用する。</u></p> <p>(3) 鋼管(構内)敷設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電工(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="7">鋼管(構内)敷設</td> <td><u>20A以下</u></td> <td>m</td> <td><u>0.075</u></td> </tr> <tr> <td><u>25A</u> "</td> <td>"</td> <td><u>0.090</u></td> </tr> <tr> <td><u>32A</u> "</td> <td>"</td> <td><u>0.110</u></td> </tr> <tr> <td><u>40A</u> "</td> <td>"</td> <td><u>0.130</u></td> </tr> <tr> <td><u>50A</u> "</td> <td>"</td> <td><u>0.150</u></td> </tr> <tr> <td><u>65A</u> "</td> <td>"</td> <td><u>0.170</u></td> </tr> <tr> <td>80A "</td> <td>"</td> <td>0.200</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。 2. 舗装切断、取り壊し、復旧、床掘、埋戻し、残土処理は別途積算する。 3. 定尺(4m/5.5m)を無加工で施工する割合が大部分の場合は、0.7倍とする。 (新設)</p> <p>(4) 波付硬質合成樹脂管(FEP)敷設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電工(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">波付硬質合成樹脂管(FEP)敷設</td> <td><u>個所あたり施工延長10m未満</u></td> <td>m</td> <td><u>0.010</u></td> </tr> <tr> <td><u>個所あたり施工延長10m以上</u></td> <td>"</td> <td><u>0.005</u></td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。 2. 電気通信設備工事における電気及び通信ケーブル用配管敷設に適用する。 3. 舗装切断、取り壊し、復旧、床掘、埋戻し、残土処理は別途積算する。 4. 本歩掛は1条あたりの歩掛のため、多条敷設の場合は次式による。 n条敷設歩掛=基準歩掛×n(敷設条数) (新設)</p> <p>(5) コンクリートトラフ敷設</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電工(人)</th> <th>普通作業員(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">コンクリートトラフ敷</td> <td>150mm以下</td> <td>m</td> <td>0.005</td> <td>0.150</td> </tr> <tr> <td>250 "</td> <td>"</td> <td>0.010</td> <td>0.170</td> </tr> <tr> <td>400 "</td> <td>"</td> <td>0.015</td> <td>0.260</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 舗装切断、取り壊し、復旧、床掘、埋戻し、残土処理は、別途積算する。</p>		作業種別	細別規格	単位	電工(人)	鋼管(構内)敷設	<u>20A以下</u>	m	<u>0.075</u>	<u>25A</u> "	"	<u>0.090</u>	<u>32A</u> "	"	<u>0.110</u>	<u>40A</u> "	"	<u>0.130</u>	<u>50A</u> "	"	<u>0.150</u>	<u>65A</u> "	"	<u>0.170</u>	80A "	"	0.200	作業種別	細別規格	単位	電工(人)	波付硬質合成樹脂管(FEP)敷設	<u>個所あたり施工延長10m未満</u>	m	<u>0.010</u>	<u>個所あたり施工延長10m以上</u>	"	<u>0.005</u>	作業種別	細別規格	単位	電工(人)	普通作業員(人)	コンクリートトラフ敷	150mm以下	m	0.005	0.150	250 "	"	0.010	0.170	400 "	"	0.015	0.260
作業種別	細別規格	単位	電工(人)																																																																																																																		
鋼管(構内地中)敷設	<u>25A以下</u>	m	<u>0.090</u>																																																																																																																		
	<u>40A</u> "	"	<u>0.130</u>																																																																																																																		
	<u>65A</u> "	"	<u>0.170</u>																																																																																																																		
	80A "	"	0.200																																																																																																																		
作業種別	細別規格	単位	電工(人)																																																																																																																		
<u>波付硬質合成樹脂管(FEP)(道路沿い(地中))敷設</u>	<u>道路沿い施工</u>	m	<u>0.005</u>																																																																																																																		
波付硬質合成樹脂管(FEP)(構内地中)敷設	<u>50mm以下</u>	"	<u>0.026</u>																																																																																																																		
	<u>80mm</u> "	"	<u>0.040</u>																																																																																																																		
	<u>125mm</u> "	"	<u>0.060</u>																																																																																																																		
	<u>150mm</u> "	"	<u>0.072</u>																																																																																																																		
	<u>200mm</u> "	"	<u>0.105</u>																																																																																																																		
作業種別	細別規格	単位	電工(人)	普通作業員(人)																																																																																																																	
コンクリートトラフ敷	150mm以下	m	0.005	0.150																																																																																																																	
	250 "	"	0.010	0.170																																																																																																																	
	400 "	"	0.015	0.260																																																																																																																	
作業種別	細別規格	単位	電工(人)																																																																																																																		
鋼管(構内)敷設	<u>20A以下</u>	m	<u>0.075</u>																																																																																																																		
	<u>25A</u> "	"	<u>0.090</u>																																																																																																																		
	<u>32A</u> "	"	<u>0.110</u>																																																																																																																		
	<u>40A</u> "	"	<u>0.130</u>																																																																																																																		
	<u>50A</u> "	"	<u>0.150</u>																																																																																																																		
	<u>65A</u> "	"	<u>0.170</u>																																																																																																																		
	80A "	"	0.200																																																																																																																		
作業種別	細別規格	単位	電工(人)																																																																																																																		
波付硬質合成樹脂管(FEP)敷設	<u>個所あたり施工延長10m未満</u>	m	<u>0.010</u>																																																																																																																		
	<u>個所あたり施工延長10m以上</u>	"	<u>0.005</u>																																																																																																																		
作業種別	細別規格	単位	電工(人)	普通作業員(人)																																																																																																																	
コンクリートトラフ敷	150mm以下	m	0.005	0.150																																																																																																																	
	250 "	"	0.010	0.170																																																																																																																	
	400 "	"	0.015	0.260																																																																																																																	

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後

(4) コンクリート管敷設

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	普通作業員 (人)
コンクリート管敷設	150 mm以下	m	0.005	0.150
	200 "	"	0.005	0.200
	250 "	"	0.010	0.250

(注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。
2. 舗装切断、取り壊し、復旧、床掘、埋戻し、残土処理は、別途積算する。

(5) 埋設標識シート敷設・地中埋設標識敷設

作 業 種 別	細別規格	単位	電 工 (人)
埋設標識シート敷設		m	0.004
<u>地中埋設標識敷設</u>	<u>コンクリート製</u>	<u>個</u>	<u>0.200</u>
	<u>鉄製</u>	<u>"</u>	<u>0.020</u>

[削る。]

現 行

(6) コンクリート管敷設

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	普通作業員 (人)
コンクリート管敷設	150 mm以下	m	0.005	0.150
	200 "	"	0.005	0.200
	250 "	"	0.010	0.250

(注) 1. 管内清掃等も本歩掛に含まれる。
2. 舗装切断、取り壊し、復旧、床掘、埋戻し、残土処理は、別途積算する。

(7) 埋設標識シート敷設

作 業 種 別	単位	電 工 (人)
埋設標識シート敷設	m	0.004

1-1-2 屋内露出配管敷設

<u>作 業 種 別</u>	<u>細 別 規 格</u>	<u>単 位</u>	<u>電 工 (人)</u>
<u>厚鋼電線管敷設</u>	<u>16 mm</u>	<u>m</u>	<u>0.075</u>
	<u>22 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.095</u>
	<u>28 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.120</u>
	<u>36 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.160</u>
	<u>42 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.200</u>
	<u>54 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.250</u>
	<u>70 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.300</u>
	<u>82 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.350</u>
<u>薄鋼電線管敷設</u>	<u>19 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.065</u>
	<u>25 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.085</u>
	<u>31 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.095</u>
	<u>39 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.120</u>
	<u>51 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.200</u>
	<u>63 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.250</u>
	<u>75 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.300</u>
<u>硬質ビニル管敷設</u>	<u>14 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.030</u>
	<u>16 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.035</u>
	<u>22 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.045</u>
	<u>28 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.055</u>
	<u>36 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.075</u>
	<u>42 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.095</u>
	<u>54 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.110</u>
<u>70 mm</u>	<u>"</u>	<u>0.140</u>	

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後	現 行			
[削る。]	<u>82 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.170</u>	
	<p>(注) 1. <u>配管は、サドル留めとする。</u> 2. <u>クリップ留め配管は、0.7倍とする。</u> 3. <u>埋込は、0.9倍とする。</u> 4. <u>定尺(3.66m/4.0m)を無加工で施工する割合が大部分の場合は、0.7倍とする。</u></p>			
	<p>1-1-3 屋外露出配管敷設</p>			
	<u>作業種別</u>	<u>細別規格</u>	<u>単位</u>	<u>電 工 (人)</u>
	<u>厚鋼電線管敷設</u>	<u>16 mm</u>	<u>m</u>	<u>0.085</u>
		<u>22 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.100</u>
		<u>28 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.130</u>
		<u>36 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.170</u>
		<u>42 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.210</u>
		<u>54 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.250</u>
		<u>70 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.300</u>
		<u>82 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.350</u>
	<u>薄鋼電線管敷設</u>	<u>19 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.080</u>
		<u>25 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.100</u>
		<u>31 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.110</u>
		<u>39 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.150</u>
		<u>51 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.230</u>
		<u>63 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.300</u>
		<u>75 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.350</u>
	<u>硬質ビニル管敷設</u>	<u>16 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.040</u>
<u>22 mm</u>		<u>〃</u>	<u>0.055</u>	
<u>28 mm</u>		<u>〃</u>	<u>0.070</u>	
<u>36 mm</u>		<u>〃</u>	<u>0.085</u>	
<u>42 mm</u>		<u>〃</u>	<u>0.110</u>	
<u>54 mm</u>		<u>〃</u>	<u>0.150</u>	
<u>70 mm</u>		<u>〃</u>	<u>0.180</u>	
<u>82 mm</u>		<u>〃</u>	<u>0.210</u>	
<p>(注) 1. <u>管内清掃等も本歩掛に含まれる。</u> 2. <u>配管は、サドル留めとする。</u> 3. <u>クリップ留め配管は、0.7倍とする。</u> 4. <u>トンネル、橋梁部、擁壁内の埋込配管(コンクリート埋込配管)は、0.9倍とする。</u> 5. <u>定尺(3.66m/4.0m)を無加工で施工する割合が大部分の場合は、0.7倍とする。</u></p>				

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後	現 行																																																																																																																													
<p>6. <u>高所作業（2m以上）を伴う場合は、1.2倍する。</u></p> <p>7. <u>道路沿い（地中）・地中配管において、舗装切断、とりこわし、復旧、床掘り、埋戻し、残土処理は別途積算する。</u></p> <p>8. <u>道路沿い（地中）配管において、原則としてハンドホール間が、150m以上の長距離敷設に適用する。</u></p> <p>9. <u>本歩掛はHIVE管にも適用する。</u></p> <p>10. <u>道路沿い(地中)は、河川敷内の配管にも適用する。</u></p> <p>(8) <u>金属製可とう電線管敷設</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電 工 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">金属製可とう電線管</td> <td>22mm以下</td> <td>m</td> <td>0.042</td> </tr> <tr> <td>36mm "</td> <td>"</td> <td>0.065</td> </tr> <tr> <td>54mm "</td> <td>"</td> <td>0.119</td> </tr> <tr> <td>76mm "</td> <td>"</td> <td>0.138</td> </tr> <tr> <td>82mm "</td> <td>"</td> <td>0.166</td> </tr> </tbody> </table> <p>(9) <u>合成樹脂可とう電線管（PF管・CD管）敷設</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電 工 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">合成樹脂可とう電線管 (露出)</td> <td>22mm以下</td> <td>m</td> <td>0.049</td> </tr> <tr> <td>36mm "</td> <td>"</td> <td>0.062</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. <u>隠ぺい・コンクリート埋設配管は、0.9倍とする。</u></p> <p>2. <u>CD管はコンクリート埋設のみ適用する。</u></p> <p>1-1-2 <u>配線</u> [削る。]</p>	作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	金属製可とう電線管	22mm以下	m	0.042	36mm "	"	0.065	54mm "	"	0.119	76mm "	"	0.138	82mm "	"	0.166	作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	合成樹脂可とう電線管 (露出)	22mm以下	m	0.049	36mm "	"	0.062	<p>(新設)</p> <p>(新設)</p> <p>1-1-4 <u>地中配線</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">細別規格</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">地中管内</th> <th colspan="2">トラフ内</th> <th colspan="2">直 埋</th> </tr> <tr> <th>電工(人)</th> <th>普作(人)</th> <th>電工(人)</th> <th>普作(人)</th> <th>電工(人)</th> <th>普作(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5mm以下</td> <td>m</td> <td>0.0060</td> <td>0.0060</td> <td>0.0036</td> <td>0.0036</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>10mm "</td> <td>"</td> <td>0.0110</td> <td>0.0110</td> <td>0.0069</td> <td>0.0069</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>15mm "</td> <td>"</td> <td>0.0210</td> <td>0.0210</td> <td>0.0120</td> <td>0.0120</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>20mm "</td> <td>"</td> <td>0.0270</td> <td>0.0270</td> <td>0.0160</td> <td>0.0160</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>30mm "</td> <td>"</td> <td>0.0380</td> <td>0.0380</td> <td>0.0220</td> <td>0.0220</td> <td>0.0220</td> <td>0.0220</td> </tr> <tr> <td>40mm "</td> <td>"</td> <td>0.0530</td> <td>0.0530</td> <td>0.0310</td> <td>0.0310</td> <td>0.0310</td> <td>0.0310</td> </tr> <tr> <td>50mm "</td> <td>"</td> <td>0.0830</td> <td>0.0830</td> <td>0.0500</td> <td>0.0500</td> <td>0.0500</td> <td>0.0500</td> </tr> <tr> <td>60mm "</td> <td>"</td> <td>0.1400</td> <td>0.1400</td> <td>0.0840</td> <td>0.0840</td> <td>0.0840</td> <td>0.0840</td> </tr> <tr> <td>70mm "</td> <td>"</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.1400</td> <td>0.1400</td> </tr> <tr> <td>80mm "</td> <td>"</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>0.2200</td> <td>0.2200</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. <u>細別規格については、仕上がり外径とする。</u></p> <p>2. <u>舗装切断、取り壊し、復旧、床掘、埋戻し、残土処理は別途積算する。</u></p> <p>3. <u>直埋は、鋼帯鎧装ケーブルを対象とする。</u></p>	細別規格	単位	地中管内		トラフ内		直 埋		電工(人)	普作(人)	電工(人)	普作(人)	電工(人)	普作(人)	5mm以下	m	0.0060	0.0060	0.0036	0.0036	—	—	10mm "	"	0.0110	0.0110	0.0069	0.0069	—	—	15mm "	"	0.0210	0.0210	0.0120	0.0120	—	—	20mm "	"	0.0270	0.0270	0.0160	0.0160	—	—	30mm "	"	0.0380	0.0380	0.0220	0.0220	0.0220	0.0220	40mm "	"	0.0530	0.0530	0.0310	0.0310	0.0310	0.0310	50mm "	"	0.0830	0.0830	0.0500	0.0500	0.0500	0.0500	60mm "	"	0.1400	0.1400	0.0840	0.0840	0.0840	0.0840	70mm "	"	—	—	—	—	0.1400	0.1400	80mm "	"	—	—	—	—	0.2200	0.2200
作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)																																																																																																																											
金属製可とう電線管	22mm以下	m	0.042																																																																																																																											
	36mm "	"	0.065																																																																																																																											
	54mm "	"	0.119																																																																																																																											
	76mm "	"	0.138																																																																																																																											
	82mm "	"	0.166																																																																																																																											
作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)																																																																																																																											
合成樹脂可とう電線管 (露出)	22mm以下	m	0.049																																																																																																																											
	36mm "	"	0.062																																																																																																																											
細別規格	単位	地中管内		トラフ内		直 埋																																																																																																																								
		電工(人)	普作(人)	電工(人)	普作(人)	電工(人)	普作(人)																																																																																																																							
5mm以下	m	0.0060	0.0060	0.0036	0.0036	—	—																																																																																																																							
10mm "	"	0.0110	0.0110	0.0069	0.0069	—	—																																																																																																																							
15mm "	"	0.0210	0.0210	0.0120	0.0120	—	—																																																																																																																							
20mm "	"	0.0270	0.0270	0.0160	0.0160	—	—																																																																																																																							
30mm "	"	0.0380	0.0380	0.0220	0.0220	0.0220	0.0220																																																																																																																							
40mm "	"	0.0530	0.0530	0.0310	0.0310	0.0310	0.0310																																																																																																																							
50mm "	"	0.0830	0.0830	0.0500	0.0500	0.0500	0.0500																																																																																																																							
60mm "	"	0.1400	0.1400	0.0840	0.0840	0.0840	0.0840																																																																																																																							
70mm "	"	—	—	—	—	0.1400	0.1400																																																																																																																							
80mm "	"	—	—	—	—	0.2200	0.2200																																																																																																																							

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改正後

現行

[削る。]

1-1-5 屋内配線

細別規格	単位	電工(人)					
		管内ダクト内	ラック	ピット	ころがし	露出 (コンクリート壁)	露出 (木質壁)
5mm以下	m	0.0120	0.0150	0.0096	0.0072	0.0190	0.0140
10mm //	//	0.0230	0.0290	0.0180	0.0130	0.0360	0.0270
15mm //	//	0.0420	0.0540	0.0330	0.0250	0.0670	0.0500
20mm //	//	0.0550	0.0710	0.0440	0.0330	0.0880	0.0660
30mm //	//	0.0760	0.0980	0.0600	0.0450	0.1200	0.0910
40mm //	//	0.1000	0.1300	0.0840	—	—	—
50mm //	//	0.1600	0.2100	0.1300	—	—	—
60mm //	//	0.2800	0.3600	0.2200	—	—	—

- (注) 1. 細別規格については、仕上がり外径とする。
 2. ラック配線においては、ケーブルの結束を含む。
 3. ラック配線において無縫縛の場合は、原則として0.7倍とする。
 4. ころがし配線は、天井内及び床下ころがし配線に適用する。
 5. 露出(コンクリート壁)配線は、コンクリート壁サドル留めの露出配線に適用する。
 6. 露出(木質壁)配線は、木質壁サドル留めの露出配線に適用する。

[削る。]

1-1-6 屋外配線

細別規格	単位	電工(人)			
		管内ダクト内	ラック	ピット	露出(コンクリート壁)
5mm以下	m	0.012	0.015	0.0096	0.019
10mm //	//	0.023	0.029	0.018	0.036
15mm //	//	0.042	0.054	0.033	0.067
20mm //	//	0.055	0.071	0.044	0.088
30mm //	//	0.076	0.098	0.060	0.120
40mm //	//	0.100	0.130	0.084	—
50mm //	//	0.160	0.210	0.130	—
60mm //	//	0.280	0.360	0.220	—

- (注) 1. 細別規格については、仕上がり外径とする。
 2. ラック配線においては、ケーブルの結束を含む。
 3. ラック配線において無縫縛の場合は、原則として0.7倍とする。
 4. 露出(コンクリート壁)配線は、コンクリート壁サドル留めの露出配線に適用する。

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後				現 行	
<u>(1) ケーブル及び電線配線</u>				(新設)	
<u>作業種別</u>	<u>細別規格</u>	<u>単位</u>	<u>電 工 (人)</u>		
<u>管 内 配 線</u>	<u>5 mm以下</u>	<u>m</u>	<u>0.012</u>		
	<u>10 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.023</u>		
	<u>20 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.055</u>		
	<u>40 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.100</u>		
	<u>50 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.160</u>		
	<u>60 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.280</u>		
<u>トラフ・ころがし配線</u>	<u>5 mm以下</u>	<u>"</u>	<u>0.0072</u>		
	<u>10 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.013</u>		
	<u>20 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.033</u>		
	<u>40 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.062</u>		
	<u>50 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.100</u>		
	<u>60 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.168</u>		
<u>ピ ッ ト 配 線</u>	<u>5 mm以下</u>	<u>"</u>	<u>0.0096</u>		
	<u>10 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.018</u>		
	<u>20 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.044</u>		
	<u>40 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.084</u>		
	<u>50 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.130</u>		
	<u>60 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.220</u>		
<u>露 出 配 線</u>	<u>5 mm以下</u>	<u>"</u>	<u>0.019</u>		
	<u>10 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.036</u>		
	<u>20 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.088</u>		
	<u>40 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.120</u>		
<u>屋 内 露 出 配 線 (木 質 壁)</u>	<u>5 mm以下</u>	<u>"</u>	<u>0.014</u>		
	<u>10 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.027</u>		
	<u>20 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.066</u>		
	<u>40 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.091</u>		
<u>ラ ッ ク 配 線</u>	<u>5 mm以下</u>	<u>"</u>	<u>0.015</u>		
	<u>10 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.029</u>		
	<u>20 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.071</u>		
	<u>40 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.130</u>		
	<u>50 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.210</u>		
	<u>60 mm "</u>	<u>"</u>	<u>0.360</u>		
<u>(注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。</u>					
<u>2. ころがし配線は、天井内及び床下ころがしに適用する。</u>					
<u>3. 露出配線は、サドル留めに適用する。</u>					
<u>4. ラック配線は、ケーブルの結束を含む。</u>					
<u>5. ラック配線で無縫縛の場合は、0.7倍とする。</u>					
<u>6. ラック配線はダクトにも適用する。</u>					
<u>7. ラック配線で既設のケーブルラックのラックカバーの取外し再据付を伴う時は、1-2配線器具設置工 1-2-2ケーブルラック設置による。</u>					

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後

現 行

(2) 鋼帯鎧装ケーブル配線(直埋)

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)
鋼帯鎧装ケーブル 配線（直埋）	40mm以下	m	0.062
	50mm //	//	0.100
	60mm //	//	0.168
	70mm //	//	0.280
	80mm //	//	0.440

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。
2. 舗装切断、取り壊し、復旧、床堀、埋戻し、残土処理は別途積算する。

1-1-3 架空配線

(1) 引込線(DV)架空配線

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)
引込線(DV)配線	15mm以下	径間	0.45
	20mm //	//	0.75
	30mm //	//	1.50

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。
2. 1径間とは、電柱径間の電線1条をいう。

(2) 架 線

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)
架 線	5mm以下	径間	0.40
	10mm //	//	0.80
	15mm //	//	1.20

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。
2. 電線の接続、接続替、バインド掛(線)等の工事は、本歩掛に含まれている。
3. 1径間とは、電柱径間の電線1条をいう。
4. メッセンジャーワイヤにも適用する。

(新設)

1-1-7 架空配線

(1) 引込線(DV)架空配線

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	普通作業員 (人)
引込線(DV)配線	8mm ² ×2C	径間	0.25	0.15
	22mm ² //	//	0.40	0.20
	38mm ² //	//	0.65	0.30
	60mm ² //	//	0.80	0.40
	8mm ² ×3C	//	0.30	0.15
	22mm ² //	//	0.50	0.25
	38mm ² //	//	0.85	0.40
	60mm ² //	//	1.00	0.50

- (注) 1. 単線(OW)の場合は2心を0.9倍したうえ、2条の場合は2倍、3条の場合は3倍とする。
2. 1径間とは、電柱径間の電線1条をいう。

(2) 架 線

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	普通作業員 (人)
架 線	3.2mm 8mm ² 以下	径間	0.10	0.15
	5mm 14mm ² //	//	0.15	0.25
	38mm ² //	//	0.25	0.40
	60mm ² //	//	0.30	0.50
	80mm ² //	//	0.40	0.65
	125mm ² //	//	0.45	0.75

- (注) (新設)
1. 電線の接続、接続替、バインド掛(線)等の工事は、本歩掛に含まれている。
2. 1径間とは、電柱径間の電線1条をいう。
3. メッセンジャーワイヤにも適用する。

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後

現 行

(3) 電力ケーブル架空配線

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)
電力ケーブル 架 空 配 線	<u>15 mm以下</u>	径間	<u>1.27</u>
	<u>20 mm //</u>	〃	<u>1.82</u>
	<u>30 mm //</u>	〃	<u>3.10</u>
	<u>40 mm //</u>	〃	<u>4.10</u>

(3) 電力ケーブル架空配線

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	普通作業員 (人)
電力ケーブル 架 空 配 線	<u>2 mm²×3C</u>	径間	<u>0.24</u>	<u>0.39</u>
	<u>3.5 mm² //</u>	〃	<u>0.36</u>	<u>0.59</u>
	<u>5.5 mm² //</u>	〃	<u>0.48</u>	<u>0.79</u>
	<u>8 mm² //</u>	〃	<u>0.60</u>	<u>0.99</u>
	<u>14 mm² //</u>	〃	<u>0.72</u>	<u>1.10</u>
	<u>22 mm² //</u>	〃	<u>0.84</u>	<u>1.60</u>
	<u>38 mm² //</u>	〃	<u>1.00</u>	<u>2.10</u>
	<u>60 mm² //</u>	〃	<u>1.50</u>	<u>2.60</u>

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。
 2. ケーブルハンガー吊金具取付を含む。
 3. 1径間とは、電柱径間のケーブル1条をいう。
 4. メッセンジャー付ケーブルは、0.7倍とする。

- (注) 1. 本歩掛は3心の場合とし、2心の場合は0.9倍とする。
 2. ケーブルハンガー吊金具取付を含む。
 3. 1径間とは、電柱径間のケーブル1条をいう。
 4. メッセンジャー付ケーブルは、原則として0.7倍とする。

1-1-4 電力ケーブル端末処理

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	
			低 圧	高 圧
電力ケーブル 端 末 処 理	14 mm ² ×3C以下	箇所	0.20	0.60
	22 mm ² //	〃	0.25	0.70
	38 mm ² //	〃	0.35	0.90
	60 mm ² //	〃	0.45	1.20
	100 mm ² //	〃	0.60	1.30
	150 mm ² //	〃	0.90	1.40

- (注) 1. 本歩掛は、3心の場合とし、単心の場合は0.6倍、2心の場合は0.8倍、4心の場合は1.2倍とする。
 2. 低圧ケーブルの端末処理はケーブル配線歩掛に含まれており、本歩掛は、既設ケーブルの端末処理に適用する。

1-1-8 電力ケーブル端末処理

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	
			低 圧	高 圧
電力ケーブル 端 末 処 理	14 mm ² ×3C以下	箇所	0.20	0.60
	22 mm ² //	〃	0.25	0.70
	38 mm ² //	〃	0.35	0.90
	60 mm ² //	〃	0.45	1.20
	100 mm ² //	〃	0.60	1.30
	150 mm ² //	〃	0.90	1.40

- (注) 1. 本歩掛は、3心の場合とし、単心の場合は0.6倍、2心の場合は0.8倍、4心の場合は1.2倍とする。
 2. 低圧ケーブルの端末処理はケーブル配線歩掛に含まれており、本歩掛は、既設ケーブルの端末処理に適用する。

1-1-5 電力ケーブル接続

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	
			低 圧	高 圧
電力ケーブル接続	8 mm ² ×3C以下	箇所	0.20	—
	14 mm ² //	〃	0.25	0.80
	22 mm ² //	〃	0.35	0.90
	38 mm ² //	〃	0.50	1.20
	60 mm ² //	〃	0.60	1.60
	100 mm ² //	〃	0.80	1.70
	150 mm ² //	〃	1.10	1.90

- (注) 1. 本歩掛は、3心の場合とし、単心の場合は0.6倍、2心の場合は0.8倍、4心の場合は1.2倍とする。
 2. 本歩掛は、直線接続材又は分岐接続材を使用した電力ケーブルの接続である。

1-1-9 電力ケーブル接続

作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	
			低 圧	高 圧
電力ケーブル接続	8 mm ² ×3C以下	箇所	0.20	—
	14 mm ² //	〃	0.25	0.80
	22 mm ² //	〃	0.35	0.90
	38 mm ² //	〃	0.50	1.20
	60 mm ² //	〃	0.60	1.60
	100 mm ² //	〃	0.80	1.70
	150 mm ² //	〃	1.10	1.90

- (注) 1. 本歩掛は、3心の場合とし、単心の場合は0.6倍、2心の場合は0.8倍、4心の場合は1.2倍とする。
 2. 本歩掛は、直線接続材又は分岐接続材を使用した電力ケーブルの接続である。

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改正後

1-1-6 コンクリート穴あけ、はつり

作業種別	細別規格	単位	はつり工 (人)
穴あけ	直径 2.5 cm 厚さ 12 cm	箇所	0.30
	直径 5.0 cm 厚さ 12 cm	〃	0.45
	直径 7.5 cm 厚さ 12 cm	〃	0.60
溝掘	幅 3.0 cm 深さ 15 cm	m	0.20
	〃 5.0 cm 深さ 15 cm	〃	0.30
	〃 7.5 cm 深さ 15 cm	〃	0.50

(注) コンクリートスラブ厚さは12cmの場合とする。

1-2 配線器具設置工

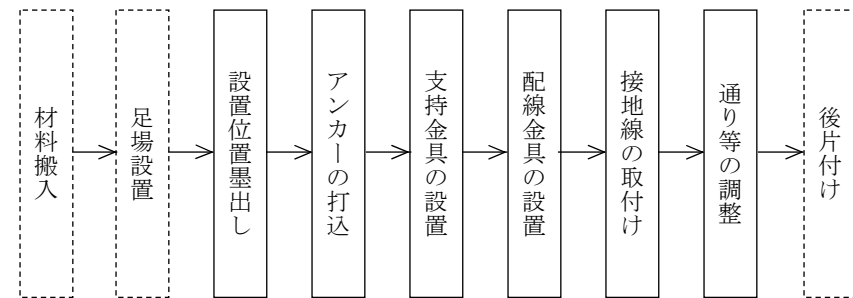
1) 適用範囲

金属ダクト、線び、ケーブルラック及びダクターの設置に適用する。

2) 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



3) 標準歩掛

- 配線器具設置工 — 1-2-1 ダクト取付
- 1-2-2 ケーブルラック設置

1-2-1 ダクト取付

[削る。]

現行

1-1-10 コンクリート穴あけ、はつり

作業種別	細別規格	単位	はつり工 (人)
穴あけ	直径 2.5 cm 厚さ 12 cm	箇所	0.30
	直径 5.0 cm 厚さ 12 cm	〃	0.45
	直径 7.5 cm 厚さ 12 cm	〃	0.60
溝掘	幅 3.0 cm 深さ 15 cm	m	0.20
	〃 5.0 cm 深さ 15 cm	〃	0.30
	〃 7.5 cm 深さ 15 cm	〃	0.50

(注) コンクリートスラブ厚さは12cmの場合とする。

1-2 配線器具設置工

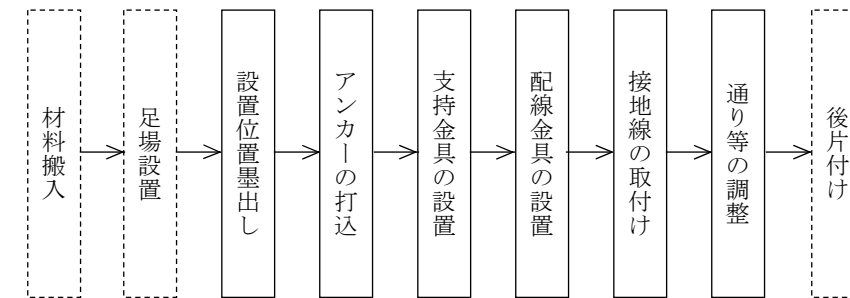
1) 適用範囲

ケーブルラック、フロアダクト、ダクタ及びプロテクタの設置に適用する。

2) 施工概要

施工フロー

本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。



3) 標準歩掛

- 配線器具設置工 — 1-2-1 ケーブルラック設置
- 1-2-2 ダクト取付

1-2-2 ダクト取付

(1) フロアダクト取付

作業種別	細別規格	単位	電工 (人)
<u>フロアダクト</u>	<u>F4 35×41 mm</u>	<u>m</u>	<u>0.24</u>
	<u>F5 25×51 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.24</u>
	<u>F6 23×60 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.24</u>
	<u>F7 35×73 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.30</u>
	<u>F8 23×80 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.30</u>

(注) ダクトの高低差調整を含む。

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後				現 行			
	<u>60×18 mm</u>	<u>〃</u>	<u>0.09</u>				
<u>ワイヤプロテクタ</u>	<u>1～5号</u>	<u>〃</u>	<u>0.05</u>				
<u>(3) 2種金属線び取付</u>				(新設)			
<u>作業種別</u>	<u>細別規格</u>	<u>単位</u>	<u>電 工 (人)</u>				
<u>2種金属線び(MM2)</u>	<u>30型</u>	<u>m</u>	<u>0.09</u>				
	<u>45型</u>	<u>〃</u>	<u>0.12</u>				
<u>1-2-2 ケーブルラック設置</u>				<u>1-2-1 ケーブルラック設置</u>			
(1) ケーブルラック設置				(1) ケーブルラック設置			
<u>作業種別</u>	<u>細別規格</u>	<u>単位</u>	<u>電 工 (人)</u>	<u>作業種別</u>	<u>細別規格</u>	<u>単位</u>	<u>電 工 (人)</u>
ケーブルラック	<u>200 mm以下</u>	<u>m</u>	<u>0.30</u>	ケーブルラック	<u>10 cm</u>	<u>m</u>	<u>0.20</u>
	<u>400 mm 〃</u>	<u>〃</u>	<u>0.50</u>		<u>20 〃</u>	<u>〃</u>	<u>0.30</u>
	<u>600 mm 〃</u>	<u>〃</u>	<u>0.60</u>		<u>30 〃</u>	<u>〃</u>	<u>0.40</u>
	<u>800 mm 〃</u>	<u>〃</u>	<u>0.70</u>		<u>40 〃</u>	<u>〃</u>	<u>0.50</u>
	<u>1000 mm 〃</u>	<u>〃</u>	<u>0.90</u>		<u>50 〃</u>	<u>〃</u>	<u>0.55</u>
					<u>60 〃</u>	<u>〃</u>	<u>0.60</u>
					<u>80 〃</u>	<u>〃</u>	<u>0.70</u>
					<u>100 〃</u>	<u>〃</u>	<u>0.90</u>
(注) 1. 敷板を設ける場合は、1.2倍とする。 2. 定尺(3m)を無加工で施工する割合が大部分の場合は、0.7倍とする。 <u>3. 吊金物等は別途計上する。</u> <u>4. 既設ケーブルラックのラックカバーの取外し、再取付の場合は、0.2倍とする。</u>				(注) 1. 敷板を設ける場合は、1.2倍とする。 2. 定尺(3m)を無加工で施工する割合が大部分の場合は、0.7倍とする。 (新設)			
(2) ダクター取付				(2) ダクター取付			
<u>作業種別</u>	<u>細別規格</u>	<u>単位</u>	<u>電 工 (人)</u>	<u>作業種別</u>	<u>細別規格</u>	<u>単位</u>	<u>電 工 (人)</u>
<u>ダクター</u>	<u>75 mm×40 mm以下</u>	<u>個</u>	<u>0.15</u>	<u>ダクター</u>	<u>30mm×40mm 以下</u>	<u>個</u>	<u>0.15</u>
					<u>45mm×40mm 以下</u>	<u>〃</u>	<u>0.16</u>
					<u>75mm×40mm 以下</u>	<u>〃</u>	<u>0.17</u>
(注) 1. 100mm～1,000mmの短尺ダクターに適用する。 2. アンカーボルトの取付けも含む。 3. ダクターとは、天井、壁面等に取付け、電線又は電線管を固定する金具である。				(注) 1. 100mm～1,000mmの短尺ダクターに適用する。 2. アンカーボルトの取付けも含む。 3. ダクターとは、天井、壁面等に取付け、電線又は電線管を固定する金具である。			

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後	現 行																																																															
<p>1-3 通信配線工</p> <p>1) 適用範囲 通信・制御ケーブルの敷設並びに接続などを行う通信配線工に適用する。</p> <p>2) 施工概要 施工フロー 本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。</p> <p>*1は、施工準備としてウインチ、滑車設置、ガイドロープ取付けを行う。 *2は、架空配線については、「1-8 引込柱設置工」による。</p> <p>3) 標準歩掛 通信配線工 ├── 1-3-1 通信・制御架空配線 └── 1-3-2 通信・制御ケーブル接続</p> <p>1-3-1 通信・制御架空配線 [削る。]</p>	<p>1-3 通信配線工</p> <p>1) 適用範囲 通信・制御ケーブルの敷設並びに接続などを行う通信配線工に適用する。</p> <p>2) 施工概要 施工フロー 本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。</p> <p>*1は、施工準備としてウインチ、滑車設置、ガイドロープ取付けを行う。 *2は、架空配線については、「1-8 引込柱設置工」による。</p> <p>3) 標準歩掛 通信配線工 ├── 1-3-1 通信・制御架空配線 └── 1-3-2 通信・制御ケーブル接続</p> <p>1-3-1 通信・制御架空配線 <u>(1) 通信ケーブル配線</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電 工 (人)</th> <th>普通作業員 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="12">メッセンジャーワイヤ吊り</td> <td>0.65mm 5P以下</td> <td>径間</td> <td>0.36</td> <td>0.59</td> </tr> <tr> <td>〃 10P 〃</td> <td>〃</td> <td>0.54</td> <td>0.87</td> </tr> <tr> <td>〃 20P 〃</td> <td>〃</td> <td>0.72</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>〃 30P 〃</td> <td>〃</td> <td>0.84</td> <td>1.40</td> </tr> <tr> <td>〃 50P 〃</td> <td>〃</td> <td>1.10</td> <td>2.00</td> </tr> <tr> <td>0.9mm 5P以下</td> <td>〃</td> <td>0.47</td> <td>0.75</td> </tr> <tr> <td>〃 10P 〃</td> <td>〃</td> <td>0.69</td> <td>1.10</td> </tr> <tr> <td>〃 20P 〃</td> <td>〃</td> <td>0.95</td> <td>1.60</td> </tr> <tr> <td>〃 30P 〃</td> <td>〃</td> <td>1.20</td> <td>2.10</td> </tr> <tr> <td>〃 50P 〃</td> <td>〃</td> <td>1.40</td> <td>2.60</td> </tr> <tr> <td>1.2mm 5P以下</td> <td>〃</td> <td>0.59</td> <td>0.96</td> </tr> <tr> <td>〃 10P 〃</td> <td>〃</td> <td>0.87</td> <td>1.50</td> </tr> <tr> <td>〃 20P 〃</td> <td>〃</td> <td>1.30</td> <td>2.20</td> </tr> <tr> <td>自己支持型</td> <td>0.65mm 5P以下</td> <td>〃</td> <td>0.24</td> <td>0.39</td> </tr> </tbody> </table>	作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	普通作業員 (人)	メッセンジャーワイヤ吊り	0.65mm 5P以下	径間	0.36	0.59	〃 10P 〃	〃	0.54	0.87	〃 20P 〃	〃	0.72	1.10	〃 30P 〃	〃	0.84	1.40	〃 50P 〃	〃	1.10	2.00	0.9mm 5P以下	〃	0.47	0.75	〃 10P 〃	〃	0.69	1.10	〃 20P 〃	〃	0.95	1.60	〃 30P 〃	〃	1.20	2.10	〃 50P 〃	〃	1.40	2.60	1.2mm 5P以下	〃	0.59	0.96	〃 10P 〃	〃	0.87	1.50	〃 20P 〃	〃	1.30	2.20	自己支持型	0.65mm 5P以下	〃	0.24	0.39
作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	普通作業員 (人)																																																												
メッセンジャーワイヤ吊り	0.65mm 5P以下	径間	0.36	0.59																																																												
	〃 10P 〃	〃	0.54	0.87																																																												
	〃 20P 〃	〃	0.72	1.10																																																												
	〃 30P 〃	〃	0.84	1.40																																																												
	〃 50P 〃	〃	1.10	2.00																																																												
	0.9mm 5P以下	〃	0.47	0.75																																																												
	〃 10P 〃	〃	0.69	1.10																																																												
	〃 20P 〃	〃	0.95	1.60																																																												
	〃 30P 〃	〃	1.20	2.10																																																												
	〃 50P 〃	〃	1.40	2.60																																																												
	1.2mm 5P以下	〃	0.59	0.96																																																												
	〃 10P 〃	〃	0.87	1.50																																																												
〃 20P 〃	〃	1.30	2.20																																																													
自己支持型	0.65mm 5P以下	〃	0.24	0.39																																																												

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後	現 行																																																																																																										
	" 10P "	"	0.36	0.59																																																																																																							
	" 20P "	"	0.48	0.79																																																																																																							
	" 30P "	"	0.56	0.95																																																																																																							
	" 50P "	"	0.78	1.30																																																																																																							
	0.9mm 5P以下	"	0.31	0.50																																																																																																							
	" 10P "	"	0.46	0.76																																																																																																							
	" 20P "	"	0.63	1.00																																																																																																							
	" 30P "	"	0.80	1.40																																																																																																							
	" 50P "	"	1.00	1.60																																																																																																							
	1.2mm 5P以下	"	0.39	0.64																																																																																																							
	" 10P "	"	0.58	1.00																																																																																																							
	" 20P "	"	0.87	1.40																																																																																																							
	[削る。]	<p>(注) 1. 本歩掛は、メッセンジャーワイヤの架設を含む。 2. 1径間とは、電柱径間のケーブル1条をいう。 3. 既に架設されたメッセンジャーワイヤにケーブルを吊る場合は、自己支持型を適用する。</p> <p>(2) 制御ケーブル配線</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">作業種別</th> <th style="text-align: center;">細別規格</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">電 工 (人)</th> <th style="text-align: center;">普通作業員 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="18" style="text-align: center; vertical-align: middle;">メッセンジャーワイヤ吊り</td> <td style="text-align: center;">2mm²×4C以下</td> <td style="text-align: center;">径間</td> <td style="text-align: center;">0.41</td> <td style="text-align: center;">0.66</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×8C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.67</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×12C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.80</td> <td style="text-align: center;">1.30</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×20C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">1.70</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×30C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.30</td> <td style="text-align: center;">2.20</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×50C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.60</td> <td style="text-align: center;">2.80</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">3.5mm²×4C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.47</td> <td style="text-align: center;">0.75</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×8C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.76</td> <td style="text-align: center;">1.20</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×12C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.95</td> <td style="text-align: center;">1.60</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×20C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.20</td> <td style="text-align: center;">2.10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×30C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.40</td> <td style="text-align: center;">2.60</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×50C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.80</td> <td style="text-align: center;">3.30</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5.5mm²×4C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.71</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×8C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.95</td> <td style="text-align: center;">1.60</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×12C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.20</td> <td style="text-align: center;">2.20</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×20C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.40</td> <td style="text-align: center;">2.60</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×30C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.80</td> <td style="text-align: center;">3.30</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×50C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">2.80</td> <td style="text-align: center;">4.10</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">自 己 支 持 型</td> <td style="text-align: center;">2mm² ×4C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.27</td> <td style="text-align: center;">0.44</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×8C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.45</td> <td style="text-align: center;">0.74</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×12C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.53</td> <td style="text-align: center;">0.88</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×20C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.66</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×30C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.86</td> <td style="text-align: center;">1.50</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">" ×50C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.10</td> <td style="text-align: center;">1.70</td> </tr> </tbody> </table>				作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	普通作業員 (人)	メッセンジャーワイヤ吊り	2mm ² ×4C以下	径間	0.41	0.66	" ×8C以下	"	0.67	1.10	" ×12C以下	"	0.80	1.30	" ×20C以下	"	1.00	1.70	" ×30C以下	"	1.30	2.20	" ×50C以下	"	1.60	2.80	3.5mm ² ×4C以下	"	0.47	0.75	" ×8C以下	"	0.76	1.20	" ×12C以下	"	0.95	1.60	" ×20C以下	"	1.20	2.10	" ×30C以下	"	1.40	2.60	" ×50C以下	"	1.80	3.30	5.5mm ² ×4C以下	"	0.71	1.10	" ×8C以下	"	0.95	1.60	" ×12C以下	"	1.20	2.20	" ×20C以下	"	1.40	2.60	" ×30C以下	"	1.80	3.30	" ×50C以下	"	2.80	4.10	自 己 支 持 型	2mm ² ×4C以下	"	0.27	0.44	" ×8C以下	"	0.45	0.74	" ×12C以下	"	0.53	0.88	" ×20C以下	"	0.66	1.10	" ×30C以下	"	0.86	1.50	" ×50C以下	"	1.10
作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	普通作業員 (人)																																																																																																							
メッセンジャーワイヤ吊り	2mm ² ×4C以下	径間	0.41	0.66																																																																																																							
	" ×8C以下	"	0.67	1.10																																																																																																							
	" ×12C以下	"	0.80	1.30																																																																																																							
	" ×20C以下	"	1.00	1.70																																																																																																							
	" ×30C以下	"	1.30	2.20																																																																																																							
	" ×50C以下	"	1.60	2.80																																																																																																							
	3.5mm ² ×4C以下	"	0.47	0.75																																																																																																							
	" ×8C以下	"	0.76	1.20																																																																																																							
	" ×12C以下	"	0.95	1.60																																																																																																							
	" ×20C以下	"	1.20	2.10																																																																																																							
	" ×30C以下	"	1.40	2.60																																																																																																							
	" ×50C以下	"	1.80	3.30																																																																																																							
	5.5mm ² ×4C以下	"	0.71	1.10																																																																																																							
	" ×8C以下	"	0.95	1.60																																																																																																							
	" ×12C以下	"	1.20	2.20																																																																																																							
	" ×20C以下	"	1.40	2.60																																																																																																							
	" ×30C以下	"	1.80	3.30																																																																																																							
	" ×50C以下	"	2.80	4.10																																																																																																							
自 己 支 持 型	2mm ² ×4C以下	"	0.27	0.44																																																																																																							
	" ×8C以下	"	0.45	0.74																																																																																																							
	" ×12C以下	"	0.53	0.88																																																																																																							
	" ×20C以下	"	0.66	1.10																																																																																																							
	" ×30C以下	"	0.86	1.50																																																																																																							
" ×50C以下	"	1.10	1.70																																																																																																								

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後	現 行																																																																																			
<p>(1) <u>通信・制御ケーブル配線</u></p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width:20%;">作 業 種 別</th> <th style="width:20%;">細 別 規 格</th> <th style="width:10%;">単 位</th> <th style="width:10%;">電 工 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">メッセンジャーワイヤ吊り</td> <td style="text-align: center;">10mm以下</td> <td style="text-align: center;">径間</td> <td style="text-align: center;">0.95</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">15mm "</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.82</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">20mm "</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">2.55</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">30mm "</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">4.00</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">40mm "</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">5.10</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">50mm "</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">6.90</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">(注) 1. <u>細別規格については、仕上外径とする。</u> 2. <u>本歩掛は、メッセンジャーワイヤの架設を含む。</u> 3. <u>1径間とは、電柱径間のケーブル1条をいう。</u> 4. <u>自己支持型ケーブルは、0.7倍とする。</u> 5. <u>既に架設されたメッセンジャーワイヤにケーブルを吊る場合は、0.7倍とする。</u></p> <p style="margin-top: 20px;">1-3-2 通信・制御ケーブル接続 [略]</p>	作 業 種 別	細 別 規 格	単 位	電 工 (人)	メッセンジャーワイヤ吊り	10mm以下	径間	0.95	15mm "	"	1.82	20mm "	"	2.55	30mm "	"	4.00	40mm "	"	5.10	50mm "	"	6.90	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <tbody> <tr> <td style="width:20%;"></td> <td style="width:20%; text-align: center;">3.5mm²×4C以下</td> <td style="width:10%; text-align: center;">"</td> <td style="width:10%; text-align: center;">0.31</td> <td style="width:10%; text-align: center;">0.50</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">" ×8C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.51</td> <td style="text-align: center;">0.84</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">" ×12C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.68</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">" ×20C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.80</td> <td style="text-align: center;">1.40</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">" ×30C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">1.60</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">" ×50C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.20</td> <td style="text-align: center;">2.00</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">5.5mm²×4C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.47</td> <td style="text-align: center;">0.78</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">" ×8C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.63</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">" ×12C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">0.83</td> <td style="text-align: center;">1.40</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">" ×20C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.00</td> <td style="text-align: center;">1.60</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">" ×30C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.20</td> <td style="text-align: center;">2.00</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">" ×50C以下</td> <td style="text-align: center;">"</td> <td style="text-align: center;">1.50</td> <td style="text-align: center;">2.50</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 10px;">(注) 1. <u>本歩掛は、メッセンジャーワイヤの架設を含む。</u> 2. <u>1径間とは、電柱径間のケーブル1条をいう。</u> 3. <u>既に架設されたメッセンジャーワイヤにケーブルを吊る場合は、自己支持型を適用する。</u></p> <p style="margin-top: 20px;">(新設)</p> <p style="margin-top: 20px;">1-3-2 通信・制御ケーブル接続 [略]</p>		3.5mm ² ×4C以下	"	0.31	0.50		" ×8C以下	"	0.51	0.84		" ×12C以下	"	0.68	1.00		" ×20C以下	"	0.80	1.40		" ×30C以下	"	1.00	1.60		" ×50C以下	"	1.20	2.00		5.5mm ² ×4C以下	"	0.47	0.78		" ×8C以下	"	0.63	1.00		" ×12C以下	"	0.83	1.40		" ×20C以下	"	1.00	1.60		" ×30C以下	"	1.20	2.00		" ×50C以下	"	1.50	2.50
作 業 種 別	細 別 規 格	単 位	電 工 (人)																																																																																	
メッセンジャーワイヤ吊り	10mm以下	径間	0.95																																																																																	
	15mm "	"	1.82																																																																																	
	20mm "	"	2.55																																																																																	
	30mm "	"	4.00																																																																																	
	40mm "	"	5.10																																																																																	
	50mm "	"	6.90																																																																																	
	3.5mm ² ×4C以下	"	0.31	0.50																																																																																
	" ×8C以下	"	0.51	0.84																																																																																
	" ×12C以下	"	0.68	1.00																																																																																
	" ×20C以下	"	0.80	1.40																																																																																
	" ×30C以下	"	1.00	1.60																																																																																
	" ×50C以下	"	1.20	2.00																																																																																
	5.5mm ² ×4C以下	"	0.47	0.78																																																																																
	" ×8C以下	"	0.63	1.00																																																																																
	" ×12C以下	"	0.83	1.40																																																																																
	" ×20C以下	"	1.00	1.60																																																																																
	" ×30C以下	"	1.20	2.00																																																																																
	" ×50C以下	"	1.50	2.50																																																																																

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後	現 行
<p>1-4 光ケーブル敷設工</p> <p>1) 適用範囲 光ファイバーケーブルの配線、接続、端末処理並びに試験などを行う光ケーブル敷設工に適用する。</p> <p>2) 施工概要 施工フロー 本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。</p> <p>* 1は、屋内・屋外管路の敷設は「1-1 配管・配線工」、ラック設置は、「1-2 配線器具設置工」による。 * 2は、直接埋設による施工とし、土地改良工事標準歩掛（土木工事）による。 なお、<u>床掘</u>時に舗装が<u>ある場合は</u>、取り壊し、舗装復旧を計上する。 * 3は、成端箱取付は「1-7分電盤設置工」による。 * 4は、架空配線による施工とし、「1-8引込柱設置工」による。 * 5は、施工準備としてウインチ、滑車設置、ガイドロープ取付けを行う。 * 6は、光ケーブル敷設歩掛に含まれる。</p> <p>3) 標準歩掛 光ケーブル配線工 <ul style="list-style-type: none"> 1-4-1 光ケーブル配線 1-4-2 光ケーブル架空配線 1-4-3 光ケーブル接続 </p>	<p>1-4 光ケーブル敷設工</p> <p>1) 適用範囲 光ファイバーケーブルの配線、接続、端末処理並びに試験などを行う光ケーブル敷設工に適用する。</p> <p>2) 施工概要 施工フロー 本歩掛が対象としているのは、実線部分のみである。</p> <p>* 1は、屋内・屋外管路の敷設は「1-1 配管・配線工」、ラック取付は、「1-2 配線器具設置工」による。 * 2は、直接埋設による施工とし、土地改良工事標準歩掛（土木工事）による。 なお、<u>掘削</u>時に舗装が<u>あれば</u>取り壊し、舗装復旧を計上する。 * 3は、成端箱取付は「1-7分電盤設置工」による。 * 4は、架空配線による施工とし、「1-8引込柱設置工」による。 * 5は、施工準備としてウインチ、滑車設置、ガイドロープ取付けを行う。 * 6は、光ケーブル敷設歩掛に含まれる。</p> <p>3) 標準歩掛 光ケーブル配線工 <ul style="list-style-type: none"> 1-4-1 光ケーブル地中配線 1-4-2 光ケーブル屋内配線 1-4-3 光ケーブル屋外配線 1-4-4 光ケーブル架空配線 1-4-5 光ケーブル接続 </p>

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後

現 行

1-4-1 光ケーブル配線

[削る。]

1-4-1 光ケーブル地中配線

作業種別	細別規格	単位	直 埋		
			地中管内 電工(人)	電工(人)	普作(人)
光ケーブル地中配線	9 mm以下	m	0.011	—	—
	11 mm "	"	0.011	—	—
	14 mm "	"	0.013	—	—
	18 mm "	"	0.014	—	—
	21 mm "	"	0.015	—	—
	22 mm "	"	0.016	—	—
	24 mm "	"	0.017	—	—
	30 mm "	"	—	0.022	0.022
	40 mm "	"	—	0.031	0.031
	50 mm "	"	—	0.050	0.050
	60 mm "	"	—	0.084	0.084
	70 mm "	"	—	0.140	0.140
80 mm "	"	—	0.220	0.220	

- (注) 1. 細別規格については、仕上がり外径とする。
 2. 舗装切断、取り壊し、復旧、床掘、埋戻し、残土処理は、別途積算とする。
 3. 直埋は、鋼帯鎧装ケーブルとする。

1-4-2 光ケーブル屋内配線

作業種別	細別規格	単位	電 工(人)			
			管 内 ダクト内	ラック	ころがし	ピット
光ケーブル屋内配線	9 mm以下	m	0.016	0.021	0.0098	0.013
	11 mm "	"	0.018	0.023	0.011	0.014
	14 mm "	"	0.020	0.026	0.012	0.016
	18 mm "	"	0.023	0.030	0.014	0.018
	21 mm "	"	0.025	0.033	0.015	0.020
	22 mm "	"	0.026	0.034	0.016	0.021
	24 mm "	"	0.027	0.036	0.016	0.022

- (注) 1. 細別規格については、仕上がり外径とする。
 2. ラック配線は、ケーブルの結束を含む。
 3. ラック配線において、無縫縛の場合は、原則として0.7倍とする。
 4. ころがし配線は、天井内及び床下ころがし配線に適用する。

1-4-3 光ケーブル屋外配線

作業種別	細別規格	単位	電 工(人)		
			管 内 ダクト内	ラック	ピット
光ケーブル屋外配線	9 mm以下	m	0.016	0.021	0.013
	11 mm "	"	0.018	0.023	0.014
	14 mm "	"	0.020	0.026	0.016
	18 mm "	"	0.023	0.030	0.018
	21 mm "	"	0.025	0.033	0.020
	22 mm "	"	0.026	0.034	0.021
	24 mm "	"	0.027	0.036	0.022

- (注) 1. 細別規格については、仕上がり外径とする。

[削る。]

[削る。]

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後	現 行																																																																											
<p>(1) <u>光ケーブル配線</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電 工 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">光ケーブル 地中管内配線</td> <td>11mm以下</td> <td>m</td> <td>0.011</td> </tr> <tr> <td>18mm //</td> <td>//</td> <td>0.014</td> </tr> <tr> <td>24mm //</td> <td>//</td> <td>0.017</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">光ケーブル 屋内・屋外配線</td> <td>11mm以下</td> <td>m</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>18mm //</td> <td>//</td> <td>0.023</td> </tr> <tr> <td>24mm //</td> <td>//</td> <td>0.027</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">光ケーブル ころがし配線</td> <td>11mm以下</td> <td>m</td> <td>0.011</td> </tr> <tr> <td>18mm //</td> <td>//</td> <td>0.014</td> </tr> <tr> <td>24mm //</td> <td>//</td> <td>0.016</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">光ケーブル ピット配線</td> <td>11mm以下</td> <td>m</td> <td>0.014</td> </tr> <tr> <td>18mm //</td> <td>//</td> <td>0.018</td> </tr> <tr> <td>24mm //</td> <td>//</td> <td>0.022</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">光ケーブル ラック配線</td> <td>11mm以下</td> <td>m</td> <td>0.023</td> </tr> <tr> <td>18mm //</td> <td>//</td> <td>0.030</td> </tr> <tr> <td>24mm //</td> <td>//</td> <td>0.036</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. <u>細別規格については、仕上外径とする。</u> 2. <u>ころがし配線は、天井内及び床下ころがしに適用する。</u> 3. <u>ころがし配線は、露出配線にも適用する。</u> 4. <u>ころがし配線をサドル留めにする場合は、1.2倍する。</u> 5. <u>ラック配線は、ケーブルの結束を含む。</u> 6. <u>ラック配線で無縫縛の場合は、0.7倍とする。</u> 7. <u>ラック配線で既設のケーブルラックのラックカバーの取外し、再取付を伴う時は、1-2配線器具設置工1-2-2ケーブルラック設置による。</u></p> <p>(2) <u>鋼帯鎧装光ケーブル配線（直埋）</u></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>作業種別</th> <th>細別規格</th> <th>単位</th> <th>電 工 (人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">鋼帯鎧装光ケーブル配線 (直埋)</td> <td>40mm以下</td> <td>m</td> <td>0.062</td> </tr> <tr> <td>50mm //</td> <td>//</td> <td>0.100</td> </tr> <tr> <td>60mm //</td> <td>//</td> <td>0.168</td> </tr> <tr> <td>70mm //</td> <td>//</td> <td>0.280</td> </tr> <tr> <td></td> <td>80mm //</td> <td>//</td> <td>0.440</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. <u>細別規格については、仕上外径とする。</u> 2. <u>舗装切断、取り壊し、復旧、床堀、埋戻、残土処理は、別途積算する。</u></p>	作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	光ケーブル 地中管内配線	11mm以下	m	0.011	18mm //	//	0.014	24mm //	//	0.017	光ケーブル 屋内・屋外配線	11mm以下	m	0.018	18mm //	//	0.023	24mm //	//	0.027	光ケーブル ころがし配線	11mm以下	m	0.011	18mm //	//	0.014	24mm //	//	0.016	光ケーブル ピット配線	11mm以下	m	0.014	18mm //	//	0.018	24mm //	//	0.022	光ケーブル ラック配線	11mm以下	m	0.023	18mm //	//	0.030	24mm //	//	0.036	作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)	鋼帯鎧装光ケーブル配線 (直埋)	40mm以下	m	0.062	50mm //	//	0.100	60mm //	//	0.168	70mm //	//	0.280		80mm //	//	0.440	<p>2. <u>ラック配線は、ケーブルの結束を含む。</u> 3. <u>ラック配線において、無縫縛の場合は、原則として0.7倍とする。</u></p> <p>(新設)</p> <p>(新設)</p>
作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)																																																																									
光ケーブル 地中管内配線	11mm以下	m	0.011																																																																									
	18mm //	//	0.014																																																																									
	24mm //	//	0.017																																																																									
光ケーブル 屋内・屋外配線	11mm以下	m	0.018																																																																									
	18mm //	//	0.023																																																																									
	24mm //	//	0.027																																																																									
光ケーブル ころがし配線	11mm以下	m	0.011																																																																									
	18mm //	//	0.014																																																																									
	24mm //	//	0.016																																																																									
光ケーブル ピット配線	11mm以下	m	0.014																																																																									
	18mm //	//	0.018																																																																									
	24mm //	//	0.022																																																																									
光ケーブル ラック配線	11mm以下	m	0.023																																																																									
	18mm //	//	0.030																																																																									
	24mm //	//	0.036																																																																									
作業種別	細別規格	単位	電 工 (人)																																																																									
鋼帯鎧装光ケーブル配線 (直埋)	40mm以下	m	0.062																																																																									
	50mm //	//	0.100																																																																									
	60mm //	//	0.168																																																																									
	70mm //	//	0.280																																																																									
	80mm //	//	0.440																																																																									

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改正後

1-4-2 光ケーブル架空配線

作業種別	細別規格	単位	電工 (人)
メッセンジャーワイヤ吊り	11mm以下	径間	0.81
	18mm "	"	1.06
	24mm "	"	1.27
(削る。)	(削る。)	(削る。)	(削る。)

- (注) 1. 細別規格については、仕上外径とする。
 なお、仕上外径とは、光ケーブル部の仕上外径をいい、メッセンジャー部、支持部を除く。
 2. 1径間とは、電柱径間のケーブル1条をいう。
 3. 本歩掛は、メッセンジャーワイヤの架設を含む。なお、メッセンジャーワイヤのみの架設は、1-1-3(2)架線を適用する。
 4. 自己支持型ケーブルは、0.7倍とする。
 5. 既に架設されたメッセンジャーワイヤにケーブルを吊る場合は、0.7倍する。

1-4-3 光ケーブル接続

(1) 光ケーブル直線接続・成端 ～ (4) 光ケーブル接続損失試験 [略]

1-5 ～ 4-3 [略]

4-4 トンネル照明設備設置工

1)～3) [略]

4-4-1 坑口照明灯設置 [略]

4-4-2 トンネル照明器具取付

作業種別	細別規格	単位	電工 (人)	普通作業員 (人)	摘要
低圧ナトリウム灯	35W	台	0.20	0.30	
	55W	"	0.25	0.40	
	90W	"	0.30	0.50	
	135W	"	0.40	0.50	
	180W	"	0.45	0.50	

現行

1-4-4 光ケーブル架空配線

作業種別	細別規格	単位	電工 (人)
メッセンジャーワイヤ吊り	9mm以下	径間	0.74
	11mm "	"	0.81
	14mm "	"	0.92
	18mm "	"	1.06
	21mm "	"	1.18
	22mm "	"	1.20
自己支持型	24mm "	"	1.27
	9mm以下	径間	0.53
	11mm "	"	0.58
	14mm "	"	0.66
	18mm "	"	0.76
	21mm "	"	0.84
22mm "	"	0.86	
24mm "	"	0.91	

- (注) 1. 細別規格については、仕上がり外径とする。
 なお、仕上り外径とは、光ケーブル部の仕上り外径をいい、メッセンジャー部、支持部を除く。
 2. 1径間とは、電柱径間のケーブル1条をいう。
 3. メッセンジャーワイヤ吊りの歩掛りは、メッセンジャーワイヤ架設も含まれる。
なお、メッセンジャーワイヤのみの架設は、1-1-7(2)架線を適用する。
 4. 既に架設されたメッセンジャーワイヤにケーブルを吊る場合は、自己支持型を適用する。
(新設)

1-4-5 光ケーブル接続

(1) 光ケーブル直線接続・成端 ～ (4) 光ケーブル接続損失試験 [略]

1-5 ～ 4-3 [略]

4-4 トンネル照明設備設置工

1)～3) [略]

4-4-1 坑口照明灯設置 [略]

4-4-2 トンネル照明器具取付

作業種別	細別規格	単位	電工 (人)	普通作業員 (人)	摘要
低圧ナトリウム灯	35W	台	0.20	0.30	
	55W	"	0.25	0.40	
	90W	"	0.30	0.50	
	135W	"	0.40	0.50	
	180W	"	0.45	0.50	

○土地改良事業等請負工事標準歩掛（施設機械）について（平成12年3月24日付け12構改D第239号農林水産省構造改善局長通知）一部改正新旧対照表

（下線部は改正部分）

改 正 後						現 行					
	プレス型 35～90W	〃	0.30	0.50			プレス型 35～90W	〃	0.30	0.50	
高圧ナトリウム灯	70～360W	〃	0.30	0.50		高圧ナトリウム灯	70～360W	〃	0.30	0.50	
	プレス型 70～360W	〃	0.30	0.50			プレス型 70～360W	〃	0.30	0.50	
蛍 光 灯	20W×1	〃	0.13	0.26		蛍 光 灯	20W×1	〃	0.13	0.26	
	40W×1	〃	0.20	0.40	高出力 60W含む		40W×1	〃	0.20	0.40	高出力 60W含む
	110W×1	〃	0.40	0.80			110W×1	〃	0.40	0.80	
	20W×2	〃	0.16	0.33			20W×2	〃	0.16	0.33	
	40W×2	〃	0.25	0.50	高出力 60W含む		40W×2	〃	0.25	0.50	高出力 60W含む
	110W×2	〃	0.50	1.00			110W×2	〃	0.50	1.00	
	40W×3	〃	0.30	0.60	高出力 60W含む		40W×3	〃	0.30	0.60	高出力 60W含む
	110W×3	〃	0.60	1.20			110W×3	〃	0.60	1.20	
水 銀 灯	250W以下	〃	0.35	0.50		水 銀 灯	250W以下	〃	0.35	0.50	
	300W以上	〃	0.45	0.50			300W以上	〃	0.45	0.50	
<u>L E D 灯</u>	プレス型	〃	0.30	0.55	落下防止含む	<u>L E D 灯</u>	プレス型	〃	0.30	0.55	落下防止含む
	<u>アルミ製</u>	〃	<u>0.50</u>	<u>二</u>	<u>〃</u>						

(注) 1. 器具取付のための足場は別途積算とする。
 2. ラック方式にて器具取付の場合は、0.5倍とする。
 3. 接続BOX、分岐BOXは別途積算する。
 4. 本歩掛は、壁面露出直付けとする。
 5. 芯出し及びアンカーボルトの穴あけを含む。

4-4-3 自動点滅器取付(トンネル照明用) [略]

5-1 ~ 5-14 [略]

(注) 1. 器具取付のための足場は別途積算とする。
 2. ラック方式にて器具取付けの場合は、0.5倍とする。
 3. 接続BOX、分岐BOXは別途積算する。
 4. 本歩掛は、壁面露出直付けとする。
 5. 芯出し及びアンカーボルトの穴あけを含む。

4-4-3 自動点滅器取付(トンネル照明用) [略]

5-1 ~ 5-14 [略]